盛岡市勢要覽
同市役所編
昭和十二年

14.4
640

0032100001

0032100-001

14．4－640

盛岡市勢要覧

盛岡市・編

盛岡市

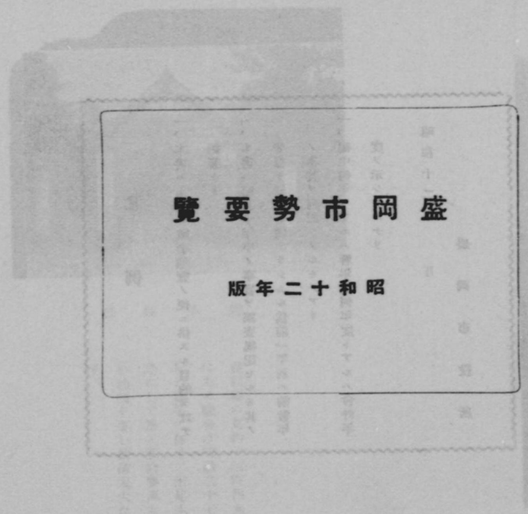
昭和12，13，15年版

昭12至15

AFB

盛岡市勢要覧
14·4
640
盛岡市役所

14·4
640



盛岡市勢要覧

昭和十二年版

公園より市街地を望む

凡例

一、本書ハ市勢ノ概要通覧ノ便ニ供スル目的ヲ以テ編纂セリ

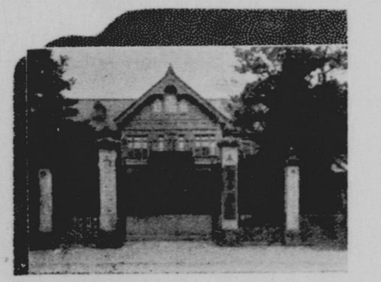
一、本書ハ昭和十年中ノ事實ヲ調査掲記セルモ其ノ變遷ヲ知ルニ便ナラシムル爲前一年若ハ前數年ノ事實ヲ列記シタルモノアリ

一、編中何年トアルハ暦年間何年度トアルハ會計年度ヲ示シタルナリ

昭和十二年　月

盛岡市役所

公園より市街地を望む



盛岡驛

盛岡驛の東約十五町内丸にあり庭舍は明治三十七年の建築に係り二階建木造にして總工費拾參萬九千餘圓を要し結構宏大なり。

賜　　鳩　　岡

市内荒巻小路菊池第三氏邸にあり、明治九年　明治大帝東北御巡幸の際當代の曾祖父金吾氏の邸に鳳輦を駐めさせ給ふこと三日後同十四年再び同邸を以て行在所に定め給ふ、庭に老松ありしが聖上これを賞でさせらるゝこと一方ならず、名を「見調松」と賜ふ、惜い哉明治十七年盛岡大火の際邸宅と共烏有に歸したるを以て金吾之を痛嘆して止まず、意に事天聽に達して明治十九年宮城御苑内の松樹三株を下賜ぜらる、因て岡を名づけて賜松岡となす。

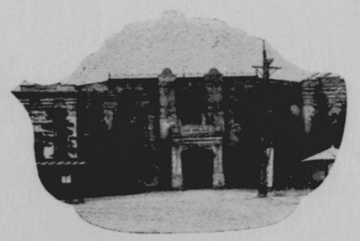
聖蹟記念塔

元仁王小學校所在地に昭和三年建設されたもので　明治大帝東北御巡幸の際特に本校に御臨幸あらせられ親しく授業天覽の光榮に浴した由緒を有する跡で塔は高さ二十尺上部に金鵄を載いてゐる。

遺にして總工費拾參萬九年餘月を要し結構宏大な

商店街

市の中央に位し活動寫眞館カフエー喫茶店等軒を並べて殷賑を極む本市隨一の歡樂境なり。



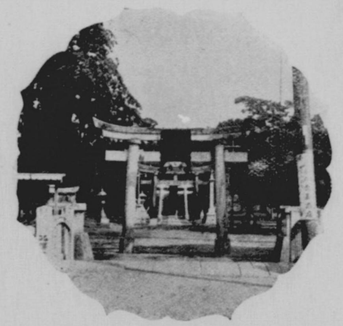
商品陳列所

縣社櫻山神社の東隣にあり縣内物産を網羅陳列し一般の縱覽に供し尚土産品の即賣を爲す。

盛岡市役所

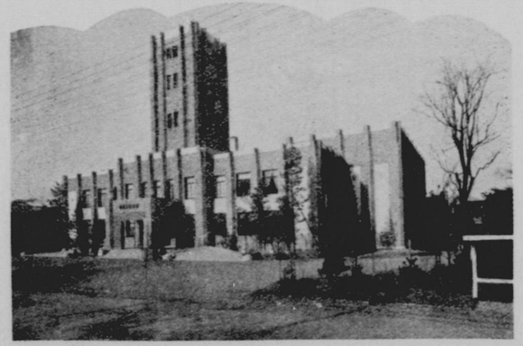
盛岡驛の東方約十五町内丸にあり廳舍は明治四十三年八月の建築に係り木造二階建にして階下は事務室階上は市會議事室其他に使用せられてゐる。

盛岡驛より約二十六町志家八幡山に鎭座す、境内廣濶社殿又宏壯でその莊嚴稀に見る所なり、前に數百間の馬場を控へ古松老杉鬱蒼として櫻楓其の間に交はり四季の風趣掬すべきものがある。明治九年　明治大帝東北御巡幸の際馬匹天覽の跡を存す。



縣社八幡宮

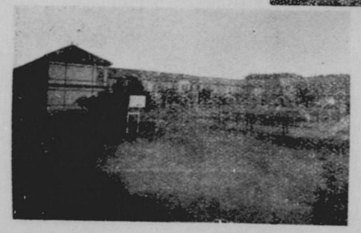
縣市協力して昭和二年六月の建築に係り近世式鐵筋骨造にして總工費四十參萬八千圓を要し塔屋の高さ八十尺にして內部は二拾六室を有し定全座席千名の大集會場を有す。



縣公會堂

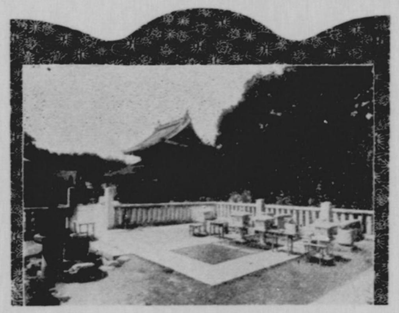
烈士　横川省三銅像

本姓は三田村出で、横川氏を冒す慶應元年四月盛岡に生る、日露の戦おこるや同志と共に蒙古入り穆兒河の鐵橋を破壊せんとして哈爾賓に刑せらる。明治三十七年四月二十一日なり。大正十三年一月従五位を追贈せらる、墓所は青櫻山に銅像は高松池畔神庭山上にあり。



仁王尋常高等小學校

明治六年四月日影門に創立せられ明治九年七月七日畏くも　明治大帝東北御巡幸の際聖旨を以て特に本校に御臨幸あらせられた最も光榮ある沿革を有して居る。校舎は大正二年の新築である。

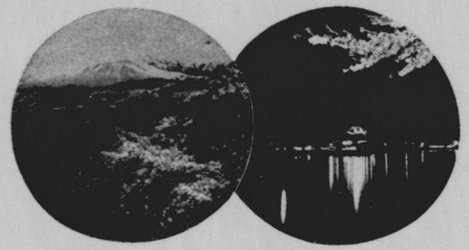


原敬先生の墓

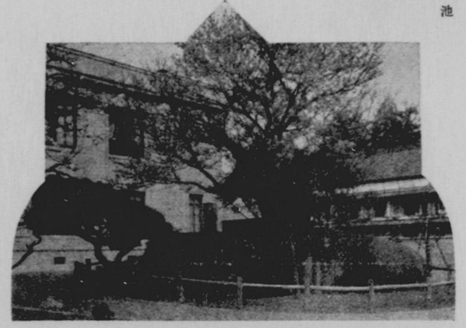
東中野にあり黄檗宗にして福聚山と號す、傍は故原敬氏の寄進で大正八年八月落慶した原氏夫妻の墓は佛殿の左にあつて香花は常に絶えない、境内林泉雅趣に富み到る處溫泉淡々として湧出夏時涼寒きの觀がある。

盛岡城趾

市有の公園で市の中央に在る舊盛岡城趾を拓いて造つたもので石垣巖然今尚古城の面影を失はない、土地高爽市中を俯瞰し遠く四圍の村落及桑梓を展望するによい、岡内林泉の風趣に富み又巨巌到る處に屈起し、亦樹を所々に設けて歡望休憩に便す、本丸趾には俯瞰南部中尉の銅像がある。



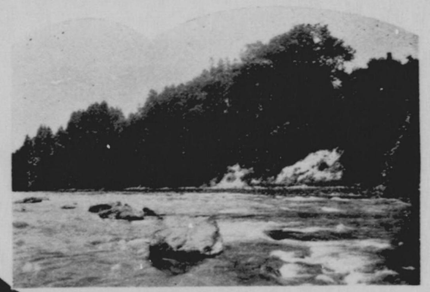
高松の池



石櫃割

一に櫻雲石といふ、盛岡地方裁判所正門を入つて右手の庭前にある、合抱の老櫻一株花崗岩の中心を劈いて挺出してゐる岩は高さ七、八尺長さ二丈餘幅は八九尺の大磐石で櫻樹は根のめぐり六尺もあるべく根より二三尺あがりて二股になり其れより四方に枝葉を發してゐる春は爛漫の花を綴りて一層の美觀を呈してゐる、大正十二年天然記念物として指定せらる。

市の北方上田にある周囘里許翠巒之を繞る、北に岩手嶽神の二峰を望み南に市街を俯瞰する眺望絶佳の勝地である、春の櫻花、夏の短夏秋の紅葉冬のスケート四季を通じて近郊に於ける遊樂の地である。



厨川　橋

通稱安倍館と書してゐる、東は北上の碧潭に臨み西方は國道を隔て、一帶の平原に續く康平中阿部賴時父子の據りし前九年役の戰蹟地である。

圓口にあり鬼哭山と號す、貞治年間長猷和尙の開基で南部守行の創設慶長六年三戸から現在の地に移された、境内の羅漢堂には京都の大佛師胸野丹下の力作に成る羅漢像五百を安置してゐる。

報恩寺　（五百羅漢像）

黒佛は市内三ツ割本誓寺の重寶にして今より七百年前是信房親鸞上人より自像の木像を惠與され紫波郡彦部村石ケ森に本誓寺を草創して宗派の宣傳につとめ後三百五十年前現在の地に移り今尚ほ現存せるものにて世に黒佛と稱せらるゝものこれなり。

本誓寺（蓮冠御眞影俗稱黒佛）

宗龍寺（五智如來及十六羅漢）

宗龍寺は今は草庵だが其境内に天保八年より十二ヶ年の歳月を費して建立した五智如來十六羅漢の大石像がある。

盛岡市水道上米内取入口

山田線上米内驛より約千米上流に在り右岸に在るは魚梯にして取入口は左岸に設けあり此處より上流は山巒重疊として人家田畑共に極めて少く山峡相迫りて幽谷をなし其の奔流澄湖は四圍の山相に調和して到る所絶景を展開しあり。

盛岡市水道上米内浄水場

山田線上米内驛前に在り取入口より導水せる源水は量水井にて其の流入量を測り左方の緩速濾過池に導き一昼夜三米の速度で濾層を通して得たる浄水は自然流下にて新庄の配水池に送らる。

14·4
640

目次

沿革……一
市ノ概観……一
一、土地
一、市廳ノ位置……一
二、市内ノ字名……二
三、市ノ面積……二
四、土地及地價……二
五、市有林……二
六、公園及墓地……三
七、道路ノ初経日……三
二、市廳
八、出入人口及現住戸数……四
九、本籍人出産死亡錄事死産……四
四、社寺及教會
一〇、神社及神職……七
一一、寺院及住職……七
一二、教會及信徒……七
五、兵事
一三、在籍軍人……八

昭和十七年 市會 一

一四、徴集人員兵種別……八
一五、壯丁檢査成績……九
一六、壯丁合格者身長……九
一七、壯丁素學程度……九
一八、壯丁病種別……一〇
六、公益團體
一九、赤十字社々員數……一〇
二〇、愛國婦人會々員數……一〇
二一、武德會々員數……一一
二二、教育會々員數……一一
七、教育
二三、學齡兒童……一一
二四、學年別兒童（尋常科）……一二
二五、學年別兒童（高等科）……一三
二六、小學校教員資格……一三
二七、小學校教員俸給……一四
二八、小學校授業料……一四
二九、小學校兒童貯金……一五
三〇、官公立學校……一六
三一、私立學校……一六
三二、幼稚園……一七
三三、青年團及少年團……一七
三四、圖書館……一八

三五、新聞雜誌……一九
八、產業
三六、職業別戶數……二〇
三七、會社種別……二〇
三八、銀行及會社……二一
三九、實業團体及組合……二七
四〇、商工會議所……二九
四一、職工人員……三一
四二、重ナル工場……三一
四三、生產額要覽……三五
四四、主ナル生產品……三五
四五、主要保管貨物……三八
四六、桑畑桑葉及蠶種……三九
四七、養蠶……三九
四八、重ナル農產物……四五
四九、果物……四五
五〇、家禽……四五
五一、家畜……四五
五二、屠畜……四五
五三、家畜市場……四五
五四、貸金……四五
五五、物價……四五
九、金融

五六、銀行及組合……四七
五七、銀行及組合貯金……四八
五八、銀行手形……四八
五九、貯蓄銀行其他ノ貯金……四九
六〇、郵便貯金……四九
六一、郵便爲替振替貯金……五〇
六二、質屋……五〇

一〇、衛生

六三、醫師……五〇
六四、藥劑師產婆看護婦其ノ他……五一
六五、製藥其ノ他……五一
六六、病院……五一
六七、傳染病患者……五二
六八、種痘人員……五二
六九、トラホーム檢診……五三
七〇、死亡人病種別……五三
七一、檢徵……五三
七二、汚物掃除……五四
七三、清潔法施行……五四

一一、運輸交通

七四、東京四隣道程……五四
七五、車輛……五四
七六、交通……五五

七七、汽車乘降客人員……五五
七八、汽車貨物……五六
七九、宿屋及宿泊人員……五六
八〇、電話……五六
八一、郵便及電信……五七
八二、電證……五七

一二、警察

八三、警察配置……五八
八四、財物被害……五八
八五、變死……五九
八六、犯罪違反件數……五九
八七、遺失物及拾得物……五九
八八、消防及火災……六〇
八九、興行……六〇

一三、社會事業

九〇、行旅病人及死亡人……六〇
九一、窮民救助……六一
九二、各種施設團体……六一
九三、職業紹介所取扱件數……六二
九四、施設團体出入人員……六三
九五、宿生會施療……六四
九六、市營住宅……六四
九七、住宅組合……六五

一四、財　政
九八、國　稅……六六
九九、縣　稅……六七
一〇〇　市　稅……六七
一〇一、市稅滯納處分……六八
一〇二、市　歲　入……六八
一〇三、市　歲　出……六九
一〇四、特別會計歲出入……七〇
一〇五、特別會計上水道歲入出……七一
一〇六、市有財產……七三
一〇七、有價證券及預金……七五
一五、議　會……七五
一〇八、議員及選擧有權者……七六
一六、市　政……七六
一〇九、議決機關及執行機關……七六
一一〇、分課組織……七七
一七、上　水　道……七八
一一一、沿　革……七八
一一二、計畫概要……七九
一一三、施設ノ概要……七九
一一四、工　費……八〇
一一五、給水戸數……八〇

盛岡市勢要覽（昭和十年分）

沿　革

築城前の地方　往古當地一帶は所謂蝦夷の棲窟で皇化に潤ひ得なかつたが、平安朝の初期延暦二十二年征夷大將軍坂上田村麿志和城を築くに方り始めて國府の所務に當つた。永承年中陸奥の豪族安倍賴時父祖の積威に依つて岩手、志和、稗貫、和賀、鬱澤、江刺六郡を拜領し厨川の城寨に據つて威を四方に振つたが、康平五年其の子貞任に至り源祖義の討伐に遭つて一族滅亡した。此の役に戰功あつた清原武則が安倍氏の倉領を襲ひ其甥橋貞賴を不來方（盛岡）へ、家、清原氏を滅し此地方藤原秀衡前後併せて凡そ四百年間藤原泰衡を討滅するに當り工藤行光家の代に至り元弘二年亂を起し遂に南部光行の孫行朝の地を領したに南部氏に降つた。

奥羽[illegible]れ、[illegible]築城後の[illegible]に[illegible]り大永二年[illegible]に[illegible]に移し[illegible]民を二戸より移して[illegible]新に[illegible]れ後岩手縣と改めた。

市制實施後の變遷　明治二十二年市制を施行し盛岡市と稱した。大正二年六月厨川村の一部を編入し更に昭和三年一月一日都市計畫法の實施となり、同年四月一日米内村を併合して今日に至つた。

概　觀

盛岡市は東經百四十一度九分、北緯三十九度四十三分に位し海拔百二十六米突本縣の中央にあつて國有鐵道東北本線に沿ひ東京を距ること東北五百三十二粁、南仙臺へ百八十三粁、北青森へ二百〇五粁、西は橋場線及花輪線を以て秋田へ、東は山田線に依つて本縣東海岸に連絡す。市街は平坦にして北上川は其の西を流れ、中津川は中央を貫流し橋梁各所に架設せられて交通便且つ一層の美觀を添ふ。東方には北上山脈の衆巒を負ひ西方遙かに奥羽山脈の峯を指呼の間に望み風光頗る絶佳である。市内には岩手縣廳を始め各官公衙及盛岡高等農林學校、岩手醫學專門學校、各種中等學校、圖書館等の教育機關備はり又銀行會社工場の實業機關あり官設工場としては鐵道省盛岡工場、專賣局煙草工場等最も著はる。其他劇場、映畫館、公園等の娯樂設備あり、郊外には工兵第八聯隊、小岩井農場、農林省小麥試驗地がある。

一、土　地

一、市廳ノ位置

	位置	東經	北緯	海拔
盛岡市役所	内丸	一四一°〇八′	三九°四二′	二三六・三〇米

二、市ノ面積及廣袤

面積	方位	地名	距離	方位	地名	距離
廣袤	極東	上米内大倉山	一七粁二〇五	極南	仙北町租町	九粁四九
	極西	下厨川長畑	二粁二三五	極北	上米内砂子澤	九粁四九

三、市内字名

大字	字名	計
仁王	内丸、下ノ橋際、流作場、古城、日影問外小路、紙町、本町、八日町、大工町、花屋町、油町、四ツ家町、谷小路、三戸町、長町、材木町、茅町、田甫、上田甫、下臺、仁王小路、平山小路、雛子小路、新築地、菜園	二五
東中野	川原小路、馬場小路、鷹匠小路、上米小路、大清水小路、多賀、六日町、呉服町、看町、十三日町、馬町、發町、新發町、川原町、鉈屋町、大慈寺前、萬日、下道、茶畑、高嶺	三〇
志家	紙町、鍛冶町、紺屋町、内加賀野、加賀野新小路、葺手町、看町、餌差小路、餌差裏、鉈屋町、松尾前、八幡、八幡町、生姜町、志家、小人町、神明前	一五
新庄	尾崎前、鹿鳥下、田中、天神下	四
加賀野	春末場、久保田、中道、角子、北井崎、田神松	六
山岸	外山岸、大平、洞清水、名乗、堤下、庚申下、合間、錢神澤下、山岸町、西高田、中村、門前崎	一三
三ツ割	鉢ノ皮、更ノ澤、深澤、大平、轍石、清水頭、下更ノ澤、洞清水、下岩清水、上岩清水、久保屋敷、金比羅前、池ノ上、北山、寺山、愛宕下、下小路、田畑、上名須川、下名須川	二〇
上田	蝦夷森、西左京長根、葉ノ上、蛇ノ鳥、蟹澤、摺鉢窪、箱清水、泵小屋、左京長根、庚申窪、黒石野平、下黒石野平、宇登坂長根、狐崎稻荷、上堤頭、堤頭、稻荷窪、狐崎、中堤、毛無森、庚申長根、古道、八幡森売場、上堰向、手掛松、舘向、西下臺、下臺、東下臺、西上臺、上臺、東上臺、西組裏、東組裏、大道、赤山、北山、東郷手、西郷手、中堰、與力小路、上田小路、新小路、鹿山脇	四五
下米内	大ヘグリ、玉澤、伊勢澤、一本松、馬場野、大豆門、佐倉、寺並落合、北潟、閉伊街道	一二
上米内	白石、小濱、土室、畑、畑井野、中居、来内澤、明通、砂子澤、岩澤、庄ケ畑、赤坂、道下、松木平、野頭、大誘、中来内、名乗、名乗澤	一八
仙北町	大切、青物町、仙北町、西浦地、組町、下道、鳥居新山	八
下厨川	舘坂、狐森、馬ノ頭、長畑、小屋塚頭、宿田後、雛現坂、境田川原、寺ノ下、宿田、畑中、片原、下田、三十軒、木伏、平戸、中川原、三ツ割	一八
計		二〇二

四、土地段別及賃貸價額

地目	有租地	坪數又ハ反別	賃貸價額	賃貸價額（宅地百坪又ハ反ニ付） 最高	最低	平均
宅地		九九八、三二一、三五	七三四、三五八、三五	一四、〇〇〇	一〇〇	三五
田		二九二、〇〇〇	八一、七二二、三五	三五、八四二、六四	一、三〇	二八
畑		五七九、三五〇	三五、八四二、六四	二八、〇〇〇	一、三〇	二八
原野		四三二、二六九	一、二三〇、九二	三、〇〇〇	六六	二八
山林		二、三六〇、〇三六	一〇、三五七、九二	一〇〇、〇〇〇	〇、二五	四、三五
池沼		三三六、	九、三五七、	一〇〇、〇〇〇	〇、二五	四、三五
雑種地		一、二三六	三、〇二五、〇〇	一〇〇、〇〇〇	三	四、三五
計		四、一〇四、二五〇	八三五、三八〇、三五			

五、市有林

種別	所在	面積
一般基本財産林	大字 上来内畑 字 平	一五、四三〇〇
同	山岸大 鉢ノ皮	三六、八五〇〇
同	三ツ割鉢ノ更ノ沢	七、五〇〇〇
同	同 鉢ノ皮	一二、六〇〇〇
同	同 洞清水	九、四〇〇〇
同	同 岩清水	五、六〇〇〇
同	築川村根田茂 片具	三五、〇〇〇〇
計		一三七、八一一
教育基本財産林	三ツ割鉢ノ皮	一五、五七一
計		一五、五七一
小學校薪炭林	淺岸村新庄具田	一三、四五二
計		一三、四五二
合計		一六五、二三一

二、氣　象

六、天候寒暖及地震

月次	午前十時ノ天候 快晴	晴曇	雨	雨量ノアリタル日數	雨量	寒暖 最高	寒暖 最低	寒暖 平均	地震
一月	三一	一四	一七	一〇五・四	十二日	六・七（一）度	十四日 一二・七（一）度	〇・〇（一）度	二
二月	二〇	三	八	二九・五	廿八日	八・五（一）度	七日 一〇・七（一）度	一・一（一）度	一
三月	三一	七	六	一〇	四日	一四・〇度	八日 一・〇（一）度	六・二度	一
四月	八	九	一三	九六・五	廿八日	二四・五度	四日 六・二（一）度	一四・八度	一
五月	一一	一一	五	五八・〇	廿九日	二七・〇度	一一日 一三・〇（一）度	一八・三度	一
六月	三	二	二五	九四・五	十日	二八・九度	二日 一八・二（一）度	二二・一度	一
七月	四	二〇	五	一〇三・一	廿一日	三一・〇度	九日 二一・〇（一）度	二五・九度	一
八月	二	六	一一	一〇二・五	廿二日	三二・五度	十九日 二二・〇（一）度	二六・一度	二
九月	三	八	一九	七八・五	七日	三〇・六度	十六日 一八・五（一）度	二三・七度	二
十月	九	四	一五	一三五・二	二日	二四・五度	廿四日 〇・二（一）度	一四・三度	五
十一月	四	六	一〇	七〇・一	四日	一七・〇（一）度	廿一日 〇・〇（一）度	八・二度	一
十二月	三	一〇	二	三五・八	廿六日	一二・五（一）度	廿六日 〇・〇（一）度	五・〇度	一
計	四九	二九	一〇二	九二・五	廿五日	三四・五度	十二月廿六日（一）度	一四・三度	一八
昭和九年	五六	三四	二〇四	一八三・〇	十五日	三四・八度	八月三日（一）度	二四・九度	二四
同八年	七三	四〇	二五	一九二・〇	廿六日	三五・〇度	一月廿六日（一）度	二三・七度	二四
同七年	六三	四四	二八	一八六・一	廿八日	三三・八度	二月廿一日（一）度	二二・八度	二四
同六年	五二	五二	二〇五	一四二・八	十一日	三二・九度	十二月十二日（一）度	一八・一度	二四
同五年	六五	五四	一九三	一四六・八	十一日	三二・四度	八月廿八日（一）度	二二・一度	二四

七、霜雪ノ初終日

年次	終雪ノ日	同日最低氣温	終霜ノ日	同日最低氣温	初霜ノ日	同日最低氣温	初雪ノ日	同日最低氣温
昭和十年	五月一日	四・〇	四月十三日	(−)〇・〇	十月八日	二・九	十一月一日	四・〇
同九年	四月三十日	(−)一・九	五月一日	(−)一・六	十月十七日	〇・四	十一月一日	四・〇
同八年	五月一日	(−)二・一	四月十九日	(−)〇・七	十月二日	(−)一・〇	十一月九日	二・三
同七年	四月三十一日	(−)二・一	十月十八日	(−)一・〇	十月十六日	(−)六・六	十一月七日	〇・七
同六年	四月十九日	〇・四	五月四日	(−)〇・四	十月二十一日	六・六	十一月十九日	三・二

三、戸數

八、出入人口及現住戸數

種別	男	女	計	昭和九年	同八年
他市町村ヘ出寄留	八、〇三七	七、二三四	一五、二七一	一三、七六一	一三、七四七
在陸海軍營舍者	三四七	一	三四八	三四七	三四七
寄在監者	六		六	六	六
寄在臺灣、樺太、朝鮮、關東州	八二	四二	一二五	一〇五	一〇五
寄在外國	三九	二三	六二	五一	五一
寄計	四三四	二七二	七〇六	五六三	五六三
本市ヘ入寄留朝鮮其ノ他外國人共	八、六〇一	七、二〇〇	一五、八〇一	一三、七〇七	一三、六九一
本籍人口	一一、二四五	九、九一三	二一、一五八	一八、一〇七	一八、〇九一
差引現住人口	三一、三九九	三一、三三三	六三、一二二	五四、〇七〇	五四、〇〇二
現住戸數	三四、一三四	三四、三四五	六八、四七九	六〇、〇六八	六〇、〇〇二
一平方粁ニ付戸數			一二、三三三	一一、二八四	一一、二七〇
一平方粁ニ付人口			一二、三四八	一一、二八四	一一、二七〇
現住一戸ニ付人口	三・六	三・六	三・六	三・六	三・六

九、本籍人出生死亡錄事死産

種別	性別	年次	昭和十年	同九年	同八年
出生	男	摘出子	九八〇	九四五	八八四
		庶子	四五	三四	四三
		私生子	一八	二五	二二
		合計	一、〇四三	一、〇〇四	九二一
	女	摘出子	九四五	九一四	八五一
		庶子	四五	二四	四三
		私生子	二五	二三	二七
		合計	一、〇〇四	九六二	九〇一
	男女	出産增差	一〇一八	一〇四二	八二〇
死亡	男		四七二	四六七	四六二
	女		三四九	三四〇	三四〇
	男女		八二一	八〇七	八〇二
死産	男		四九	四七	四七
	女		四〇	四九	四一
	男女		八九	九六	八八
婚姻			四七三	四二二	四一二
離婚			三七	三八	三八

一〇、神社及神職

種別	官國幣社	縣社	村社	無格者	計	昭和九年	同八年
神社數	—	二	五	五	一二	一二	一二
神職	一	二	五	五	一三	一二	一二
	一	二	五	五	一三	一二	一二
	一	二	五	五	一三	一二	一二
	一	二	五	五	一三	一二	一二
	一	二	五	五	一三	一二	一二
	一	二	五	五	一三	一二	一二

一一、寺院及住職

種別	眞言	淨土	臨濟	寶洞	眞宗	天臺	黃檗	日蓮	時宗	計	昭和九年	同八年
寺院數	二	六	一三	九	五	一	二	一	一	四四	四四	四四
住職	二	五	一三	九	五	一	二	一	一	四四	四四	四四
	一	五	一三	八	二	一	二	一	一	三六	三九	三八
	一	二	一	二	一	一	二	一	一	一三	一三	一三
	二	一	一	一	一	一	二	一	一	一二	一二	一二
	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一一	一一	一一
	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一一	一一	一一

四、社寺及教會

一二、教會及信徒

種別	教會數	布教師 內國人	布教師 外國人	信徒數 男	信徒數 女
ハリストス正教	一	一	—	六七	九〇
天主公教	一	一	—	一五九	一七六
バプテスト教	一	一	—	八三	八三
日本メソヂスト教	一	一	—	五三	四四
日本基督教	一	一	一	七九	四九
日本聖公會	一	一	—	四八	四六
救世軍	一	二	—	五一	五四
ホーリネス教	一	一	—	四七	五八
計	八	九	一	五八七	六〇〇
昭和九年	八	九	—	五九三	五九三
同八年	八	九	—	五六五	五三五

五、兵事

一三、在籍軍人

種別	陸軍 將校	陸軍 下士	陸軍 兵卒	陸軍 計	海軍 將校	海軍 下士	海軍 兵卒	海軍 計
現役	二〇	一七	二二九	二六六	九	一〇	五二	七一
豫備役	一〇一	四三	四〇五	五四八	三	二〇	二九	五二
後備役	九〇	七二	八五四	一、〇一五	二	—	二五	二七
補充兵	—	—	二、一八六	二、一八六	—	—	—	—
計	二一一	一三〇	三、六七六	四、〇一七	一四	三〇	一〇六	一五〇

一四、徵集人員兵種別

種別	步兵	騎兵	野砲兵	工兵	輜重兵	輜重兵特務兵	海軍兵	其ノ他	計
現役	七七	一〇	五	六	五	一〇	二	一〇	一二四
補充	八三	六	九	六	五	六七	—	一〇	一八六

一五、壯丁檢查成績

年次	合格者 甲種	合格者 第一乙種	合格者 第二乙種	徵集免除	兵役免除	徵集猶豫	徵集延期
昭和十年	一五四	六三	一一九	二三三	三五	—	二一三
同九年	一三四	四八	一三七	二〇九	二九	—	六三
同八年	一一三	四四	九九	二四五	三〇	—	七〇
同七年	一〇五	一五四	五四	二〇九	三二	—	一七〇
同六年	一五五	五四	三三	二〇四	四三	一	一六四

一六、壯丁合格者身長

年次	一・八〇以上	一・七〇以上	一・六〇以上	一・五〇以上	一・四〇以上	一・一〇以上	計
昭和十年	一	五四	三三〇	二〇三	一〇	六	六〇三
同九年	二	六九	三〇九	一六八	六	三	五五七
同八年	—	四四	二九三	一七八	一一	五	五三一
同七年	—	三九	一六一	三二〇	七	五	五三二
同六年	—	四六	二九三	二〇五	一六	一	五六一

一七、壯丁素學程度

種別	無就學	尋常小學半途退學	尋常小學卒業	高等小學半途退學	高等小學卒業	中學半途退學	中等學校卒業	專門學校以上	計
甲種	—	—	二	四	六九	三	五二	六	一五四
第一乙種	—	一	四	三	二八	五	一七	四	六二
第二乙種	—	一	九	三	六〇	八	三三	五	一一九
丙種	—	五	一五	一九	八一	一八	七三	二三	二三三
丁種	一	—	四	一	一七	一	一一	—	三五
戊種	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一	七	四三	三〇	二五五	四四	一八五	三八	六〇三

一八、壯丁病類別

年次	筋骨薄弱	齲歯疾患	近視	トラホーム	耳病	肺病	痔病	花柳病	ヘルニヤ	其ノ他	計
昭和十年	一、四七	一、二四	三三	三三	五五	五五	六	一八	二四	九	二、一八
同九年	三、二九	三、三一	一八	一八	一	八	五	四	五	五	三、一三
同八年	二、四五	二、一〇五	三〇	三〇	二	四	五	四	三	二	二、一九六
同七年	二、五	二、一三	九四	一三	二	四	三	一	三	二	二、一三六
同六年	一〇〇	二、四	三六	三六	一六	一四	二	二	一	二	二、一三六

六、公益團體

一九、赤十字社社員數

種別	昭和十年同九年同八年
佩章有効特別	男 三九
	女 一
特別	男 一、三五八
	女 一、三八
終身	男 九、八三
	女 三三
正	男 一、一、六三
	女 一、三四六
計	男 二、二、四二八
	女 二、三六六
看護婦	普通 二、四二八
	篤志 二、四二八
看護人	二

二〇、愛國婦人會會員數

年次	特別維持	特別	賛助	通常	計
昭和十年	二、〇二八	二、一、〇二八	二	一、二四一	三、二七二
同九年	二、〇二八	一、〇二八	二	一、二四一	三、二七二
同八年	二、〇二八	一、〇二八	二	一、二四一	三、二七二

二一、武德會會員數

年次	特別有功會員	正會員	計
昭和十年	二一	一、二四二	三、二六三
同九年	二六	一、二四二	三、二六八
同八年	二三	一、二四二	三、二六五

二二、教育會會員數

年次	名譽	特別	正	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
昭和十年	二	一	一	一	二、一二〇	一、二四二	二、一二〇	一、二四二	三、三六二
同九年	二	一	一	一	二、一二〇	一、二四二	二、一二〇	一、二四二	三、三六二
同八年	二	一	一	一	二、一二〇	一、二四二	二、一二〇	一、二四二	三、三六二

七、教育

二三、學齡兒童

種別	昭和十年同九年同八年	男	女	計	男	女	計
既ニ就學ノ始期ニ達シタルモノ	就學	尋常小學校ノ教科ヲ修ムルモノ	四、九九三	四、七六四	九、七五六	四、八三四	四、六三二	九、四六六
		尋常小學校ノ教科ヲ卒ヘタルモノ	七三七	六六八	一、四〇五	七二四	六四〇	一、三六四
		計	五、七二九	五、四三二	一一、一六一	五、五五八	五、二七二	一〇、八三〇
	不就學	未ダ尋常小學校ノ教科ヲ修メザルモノ	七	一三	二〇	一四	一六	三〇
		尋常小學校ノ教科ヲ修ムルモノ	一	一	二	一四	一四	二八
		計	八	一四	二二	一八	三〇	五八
	免除	未ダ尋常小學校ノ教科ヲ修メザルモノ	二	一	三	一	一	二
		尋常小學校ノ教科ヲ修ムルモノ	二	一	三	一	一	二
		計	四	二	六	二	二	四
	殘	尋常小學校ノ教科ヲ修ムルモノ	一	一	二	一	一	二
		計	一	一	二	一	一	二
	合計		五、七四二	五、四五二	一一、一九四	五、五七四	五、三〇二	一〇、八七六

種別	昭和十年 男	女	計	同九年 男	女	計	同八年 男	女	計
未ダ就學ノ始期ニ達セザルモノ	八九〇	八八四	一、七七四	九三七	八九九	一、八三六	九一一	八九五	一、八〇六
計	六、六二八	六、三二一	一二、九四九	六、五三八	六、三三八	一二、八七六	六、三一一	六、一二二	一二、四三三
既ニ就學ノ始期ニ達シタルモノ、就學歩合	九・九八二	九・九九一	九・九八七	九・九七七	九・九九三	九・九八五	九・九七六	九・九七一	九・九七四

二四、學年別兒童（尋常科）

學校別	第一學年 男	女	第二學年 男	女	第三學年 男	女	第四學年 男	女	第五學年 男	女	第六學年 男	女	計 男	女
仁王尋常高等小學校	一六二	一四七	一五五	一四二	一四八	一四一	一三六	一五四	一五八	一三六	一二三	一〇八	八八二	八二八
城南尋常小學校	一四一	一三五	一四八	一四〇	一三六	一四三	一六三	一五三	一二〇	一三九	一二〇	一三三	八二八	八四一
櫻城尋常小學校	一八三	一九三	一七三	一六五	一六五	一六六	一七一	一四一	一四三	一三四	一三九	一七一	九七四	九七〇
廚川尋常高等小學校	一二四	一〇五	九五	一三五	一一五	一〇八	一〇八	九七	一〇三	九三	一〇七	九六	六四一	六二四
仙北尋常小學校	五七	六〇	六一	六八	六〇	五七	五五	七二	四八	四四	五五	四九	三三六	三五〇
杜陵尋常小學校	八九	九三	一〇〇	八九	九三	八五	八四	八三	九一	八九	九七	七九	五五四	五一八
山岸尋常小學校	四五	五四	五七	五九	四三	五二	五七	五〇	五四	四七	四八	四五	三〇四	三〇七
米内尋常高等小學校	二〇	一六	一三	一三	一三	一七	二〇	一一	一八	一一	一一	一四	九四	八二
大慈寺尋常小學校	七六	七〇	五九	七六	七二	七二	七二	六九	六一	六三	七〇	六八	四一〇	四一八
計	八八七	八七三	八六一	八七七	八四四	八四一	八六六	八二九	七九五	七五六	七六九	七六二	五、〇三二	四、九三八
昭和九年	八六八	八七三	八五二	八五一	八九五	八二九	七九七	七七一	七八〇	七六六	七四八	七二一	四、九四〇	四、八一一
同八年	八七八	八七三	九一七	八五四	八一三	七七二	七九四	七九四	七六〇	七五〇	七四八	七二七	四、九一〇	四、七七〇

二五、學年別兒童（高等科）

學校別	第一學年 男	女	第二學年 男	女	計 男	女
盛岡高等小學校	四〇七	二七三	三七四	二六四	七八一	五三七
仁王尋常高等小學校	四六	四三	五一	三八	九七	八一
廚川尋常高等小學校	七八	五四	六三	四九	一四一	一〇三
米内尋常高等小學校	八	六	九	一	一七	七
計	五三九	三七六	四九七	三五二	一、〇三六	七二八
昭和九年	五四四	三九六	五六一	三三八	一、一〇五	七三四
同八年	五九八	三八五	四五三	二七六	一、〇五一	六六一

二六、小學校教員資格

學校別	正教員 本科 男	女	正教員 尋常科 男	女	正教員 專科 男	女	准教員 男	女	代用教員 男	女	計 男	女
盛岡高等小學校	一六	七	―	―	―	一	―	―	二	―	一八	八
仁王尋常高等小學校	二五	一〇	―	―	―	―	―	―	―	―	二五	一〇
城南尋常小學校	一八	一三	―	―	―	―	―	―	―	―	一八	一三
櫻城尋常小學校	一九	一二	―	―	―	―	―	―	―	一	一九	一三
廚川尋常高等小學校	一四	一〇	―	―	一	―	―	―	―	―	一五	一〇
仙北尋常小學校	八	六	―	―	―	―	―	―	―	―	八	六
杜陵尋常小學校	一四	六	―	―	―	―	―	―	―	―	一四	六
米内尋常高等小學校	三	一	―	―	―	―	―	―	一	一	四	二
山岸尋常小學校	八	六	―	―	―	―	―	―	―	―	八	六
大慈寺尋常小學校	八	六	―	―	―	―	―	―	―	―	八	六
計	一三三	七六	―	―	一	一	―	―	三	二	一三七	七九
昭和九年	一二九	七六	―	―	―	一	―	―	三	一	一三二	七八
同八年	一二三	七四	―	―	三	二	―	―	三	一	一二九	七七

二七、小學校教員俸給

種別	昭和十年			同九年			同八年		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
尋常小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者 男	一二〇圓	四五圓	六二・八五圓	一二〇圓	四五圓	六二・八五圓	一二〇圓	四五圓	六二・八五圓
尋常小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者 女	六二	三八	五〇・六七	六二	三八	五〇・六七	六二	三八	五〇・六七
尋常小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者 男	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尋常小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者 女	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尋常小學校ノ教授ニ從事スル者 代用教員 男	四五	四五	四五・〇〇	四五	四五	四五・〇〇	四五	四五	四五・〇〇
尋常小學校ノ教授ニ從事スル者 代用教員 女	三〇	三〇	三〇・〇〇	三〇	三〇	三〇・〇〇	三〇	三〇	三〇・〇〇
尋常小學校ノ教授ニ從事スル者 專科正教員 男	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尋常小學校ノ教授ニ從事スル者 專科正教員 女	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尋常小學校ノ教授ニ從事スル者 準教員 男	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尋常小學校ノ教授ニ從事スル者 準教員 女	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高等小學校ノ教授ニ從事スル者 本科正教員 男	一二五	四五	六四・〇二	一二五	四五	六四・〇二	一二五	四五	六四・〇二
高等小學校ノ教授ニ從事スル者 本科正教員 女	五五	四〇	四九・〇〇	五五	四〇	四九・〇〇	五五	四〇	四九・〇〇
高等小學校ノ教授ニ從事スル者 專科正教員 男	一二五	六〇	八六・〇〇	一二五	六〇	八六・〇〇	一二五	六〇	八六・〇〇
高等小學校ノ教授ニ從事スル者 專科正教員 女	六二	六二	六二・〇〇	六二	六二	六二・〇〇	六二	六二	六二・〇〇
高等小學校ノ教授ニ從事スル者 準教員 男	九〇	七五	八二・五〇	九〇	七五	八二・五〇	九〇	七五	八二・五〇
高等小學校ノ教授ニ從事スル者 準教員 女	六二	六二	六二・〇〇	六二	六二	六二・〇〇	六二	六二	六二・〇〇
計	一二五	四五	六二・八五	一二五	四五	六二・八五	一二五	四五	六二・八五

二八、小學校授業料

學校名	定額ヲ納ムル者	增額者減額者一部免全部免除ノ者	計	三月一日ニ於ケル月額總計
盛岡高等小學校	一、七二六	二四	一、七五〇	一、〇四三、〇〇〇圓
仁王尋常小學校				
厨川尋常高等小學校				
米內尋常高等小學校				

二九、小學校兒童貯金

學校別		在學兒童	貯金兒童	貯金總額	一人平均額	在籍兒童ニ對スル貯金兒童百分比
盛岡高等小學校	男	七二一	七二	三、〇九〇圓	四圓二九錢	一〇
	女	五三五	四九〇	二、〇二四、〇〇	四、一三	九二
仁王尋常小學校	男	九七八	九七八	三、〇九〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	九〇九	八五〇	二、六四〇、〇〇	三、一〇	九四
城南尋常小學校	男	八三二	八三二	二、六四〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	八四一	六八八	二、一三〇、〇〇	三、一〇	八二
櫻城尋常小學校	男	九七〇	九七〇	三、〇九〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	九六三	六三一	二、〇一〇、〇〇	三、二〇	六五
厨川尋常高等小學校	男	七八二	七八二	二、四八〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	七二六	三五五	一、一三〇、〇〇	三、一八	四九
仙北尋常小學校	男	三三四	三三四	一、〇六〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	三四七	三三一	一、〇五〇、〇〇	三、一七	九九
杜陵尋常小學校	男	五六五	四九九	一、五八〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	五一九	四四九	一、四二〇、〇〇	三、一七	九〇
由井尋常小學校	男	三三五	三三五	一、〇六〇、〇〇	三、一七	一〇〇
	女	三三七	三三七	一、〇七〇、〇〇	三、一七	一〇〇
大慈寺尋常小學校	男	四一〇	三一三	一、〇〇一、一二	三、二〇	七六
	女	四一八	三一〇	九九一、〇〇	三、二〇	七五
米內尋常高等小學校	男	一一二	一一二	三五九、〇四	三、二〇	一〇〇
	女	八九	二九	九二、八〇	三、二〇	三二
計	男	五、〇九八	四、一七九	一三、三五五、〇四	三、一八	八二
	女	五、五七九	三、九二〇	一二、四九五、八〇	三、一九	七〇
	計	一一、六七七	八、一〇四	二五、八五〇、八四	三、一八	七六

三〇、官公立學校

區別	學校名	教員	修業年限	學級	生徒	創立以來卒業生
縣立	岩手縣師範學校	二七	本科第一部 五年	六	一七〇	四七
			本科第二部 二年	二	八七	
			專攻科 一年	二	三三	
	岩手縣師範學校女子部	一七	本科第一部 五年	五	一五八	二三
			本科第二部 二年	二	五九	
			補習科 一年	一	二〇	
			專攻科 一年	一	六	
	盛岡中學校	五五	本科 五年	二〇	九〇	一八
	盛岡高等女學校	三一	本科 四年	一三	六八	一九
	工業學校	二九	機械科 本科 三年	三	六八	二四
			建築科 本科 三年	三	六八	二〇
			土木科 本科 三年	三	六八	二〇
			金工科 本科 二年	一	九	
			木工科 本科 二年	一	一五	
	盛岡商業學校	二四	本科 四年	一一	四八	一九
			初等部 六年	一	一六	二
			中等部 四年	一	三	
	盲唖部	七	盲部 音樂科	二	一	
			同鍼按科			
			唖部 別科			
			豫科			
			初等科			
			中等科			
			聾唖部			
	岩手盲唖學校		同工藝科			
			中等科			
			初等科			

三一、私立學校

學校名	創立	教員 男	教員 女	學級	生徒 男	生徒 女	創立以來卒業生 男	創立以來卒業生 女
東北高等女學校	明治廿五年七月	九		本科 四年	一二〇		三二三	
岩手產婆看護婦學校	明治卅四年九月	三	一	本科 三年	一一	一	一五五	一
				速成科 二年	一			
盛岡產婆看護婦學校	大正九年三月	三	一	本科 三年	一一	一	一五五	一
				乙種一年				
				看護婦科 甲二年				
				乙種一年				
				產婆科 甲二年				
岩手高等女學校	大正十年四月	八	七	本科 五年	一一	一	一五五	一
				本科 四年	六			
盛岡女子技藝學校	大正十一年四月	六	四	本科 四年	一一	一	一五五	一
盛岡女子商業學校	大正九年四月	三	三	本科 三年	一一	一	一五五	一
盛岡商業夜學校	大正十三年四月	三	四	本科 四年	一一	一	一五五	一
岩手中學校	大正十五年四月	二	一	本科 五年	一一	一	一五五	一
盛岡夜間中學	大正十三年十月	一七	一	本科 五年	一一	一	一五五	一
盛岡禪林中學	昭和二年四月	八	一	本科 五年	一一	一	一五五	一
岩手醫學專門學校	昭和三年四月	三一	七	豫科 四年	一一	一	一五五	一
岩手高等豫備學校	昭和五年四月	七	一	豫科 一年	一一	一	一五五	一
岩手商業學校	昭和五年二月	二	二	本科 三年	一一	一	一五五	一
				速成科 二年	一			
盛岡自動車學校	昭和五年三月	三	一	本科 二年	一一	一	一五五	一
				速成科 一年	一			
盛岡裁縫女學院	昭和七年一二月	一二	一三	本科 三年	一一	一	一五五	一
盛岡市立青年學校	昭和十年七月	一〇	一三	本科 五年	一一	一	一五五	一
				研究科 一年	一			
岩手縣是盛岡女子青年學校	昭和十年六月	一	一	本科 五年	一一	一	一五五	一
				研究科 一年	一			
岩手縣醫青年學校	昭和十年四月	二	一	本科 五年	一一	一	一五五	一
				研究科 一年	一			

三二、幼稚園

名稱	公私立別	位置	創立	保育年限	幼兒數 男	幼兒數 女	幼兒數 男女	創立以來滿限兒 男	創立以來滿限兒 女	創立以來滿限兒 男女
女子師範學校附屬幼稚園	公立	內丸	昭和三年四月	二年	三〇	三〇	六〇	一二三	一二二	二四五
盛岡幼稚園	私立	內丸	明治三十八年三月	三年	三三	三三	六六	二四三	二四三	四八六
むつみ幼稚園	同	六日町	大正六年九月	三年	三四	三二	六六	二五三	二四三	四九六
仁王幼稚園	同	仁王小路	明治四十五年四月	三年	三三	三三	六六	二五四	二五〇	五〇四
泉幼稚園	同	大澤川原小路	昭和六年四月	三年	三三	三三	六六	二五四	二五〇	五〇四
頌美幼稚園	同	加賀野	昭和八年四月	一年	三三	三三	六六	二五九	二五〇	五〇九

三三、青年團及少年團

名稱	青年團 團數	青年團 人員	女子青年團 團數	女子青年團 人員	少年團 團數	少年團 人員
大正十年十月	一	三三	一	三三	六	二三
明治四十一年九月	一、三三	四三〇	一、三三	四三〇	六	二三
昭和四年五月	一、〇三〇	四三〇	一、〇三〇	四三〇	六	二三
同九年	一	三三	一	三三	六	二三
同八年	一	三三	一	三三	六	二三

三四、圖書館

名稱	公私立別	位置	創立	圖書冊數 和漢書	圖書冊數 洋書	閱覽日數	閱覽人員
岩手縣立圖書館	縣立	內丸	大正十年十月	四二、一七〇	四三〇	三六五	四八六二
岩手圖書館	私立	內丸	明治四十一年九月	一、三三五	三五五	三六五	五五〇
盛岡佛教圖書館	私立	三ッ割	昭和四年五月	一、〇三〇	一	三六五	四三〇

三五、新聞雜誌

名稱	發行所 位置	發行所 名稱	刊行
岩手日報	內丸	岩手日報社	日刊
實業之東北	仁王小路	實業之東北社	月刊
岩手新報	同	岩手新報社	日刊
岩手教育	吳服町	赤澤號	月刊
岩手縣農會報	八幡町	東北評論社	月刊
旬刊實業新報	二村木町	旬刊實業新報社	月回
岩手商工新報	東文化小路	岩手商工新報社	旬刊
岩手清防義會報	內丸	岩手清防義會報	月刊
岩手醫學專門學校々報	同	岩手醫學專門學校々友會	年四回
岩手水產會報	縣廳內	岩手水產會	年四回
岩手佛教新聞	仁王	岩手佛教新聞社	月刊
岩手評論	八幡町	岩手評論社	月三回
旬刊	八幡町	昭和新聞社	旬刊
岩手朝日新聞	仁王小路	岩手朝日新聞社	月三回
岩手通信	六日町	佐藤印刷所	月刊
不定時	新築地	木馬文學發行所	不定
よろづ新聞	內加賀野	よろづ新聞社	日刊
岩手惠光	少年刑務所	岩手惠光保護會	年四回
溪聲	溪聲社	溪聲	月刊
我等ノ聲	市役所內	在鄉軍人分會	月一回
岩手公論	加賀野	岩手公論社	月一回
岩手自動車協會報	保安課內	自動車協會	隔月一回
愛國新聞	八幡町	愛國新聞社	月三回
岩手民報	神子田	岩手民報社	月三回
岩手經濟新報	八幡町	岩手經濟新報社	月三回

八、産　業

三六、職業別戸數

種別	昭和十年 專業	昭和十年 主タル兼業	昭和十年 從タル兼業	昭和九年 專業	昭和九年 主タル兼業	昭和九年 從タル兼業	昭和八年 專業	昭和八年 主タル兼業	昭和八年 從タル兼業
農耕畜産蠶業	二五七	四八〇	七一〇	三五七	四八〇	七〇五	二五七	四八〇	七〇五
林業	一六	一三	六四	一六	一三	六四	一六	一三	六四
漁業	一	八	三五	一	八	三五	一	九	三八
鑛業	五〇	一四	一四二	五〇	一四	一一七	三〇	四	八七
工業	二、四〇〇	一、四三九	一、六六三	二、三三六	一、四一三	一、六〇三	二、三五二	一、四〇七	一、五七八
商業	二、三八二	一、〇六二	一、五六五	二、二五〇	一、〇四四	一、五二五	一、五二五	二、一九八	一、〇二六
交通業	八〇三	二七三	四五〇	七七八	二六八	四三五	七六九	二六八	四三五
自由業	一、四四九	五八六	七五九	一、四八八	五九〇	七一四	一、四八〇	五八八	七〇三
其他ノ職業	三二七	二六七	四四三	三一四	二六七	四四三	三一一	二六七	四四三
計	七、六八五	四、一四二	五、八三二	七、五八〇	四、〇九七	五、六四一	七、四一四	四、〇六二	五、五五三
資産又ハ恩給等ニヨリ生活スル者	二七一	—	—	二六八	—	—	二六三	—	—
救助ヲ受ケル者	五一	—	—	四三	—	—	四三	—	—
其ノ他無業及職不詳	一八三	—	—	二〇九	—	—	二〇三	—	—
計	五〇五	—	—	五二〇	—	—	五〇八	—	—
合計	八、一九〇	四、一四二	五、八三二	八、〇〇〇	四、〇九七	五、六四一	七、九二二	四、〇六二	五、五五三

三七、會社種別

年次	種別	總資本金	拂込資本金	積立金	營業別社數 工業	營業別社數 販賣業	營業別社數 銀行貸金	營業別社數 其ノ他	營業別社數 計
昭和十年	株式	二八、一五九、二〇〇円	一八、二一〇、八七〇	一、四八七、〇八〇	一九	二八	一二	一九	七七
	合資	二、一五〇、六〇〇	二、一五〇、六〇〇	四、八五〇	九	三五	二	一八	六四
	合名	二四〇、六〇〇	二四〇、六〇〇	一三、五〇三	三	五	二	三	一三
昭和九年	株式	二九、〇四二、〇〇〇	一八、四〇一、四三三	五、四七七、七八八	一九	二六	一一	一八	七四
	合資	二、〇八八、四〇〇	三、〇五七、九〇〇	四、四六〇	九	三二	二	一六	五九
	合名	二八七、五〇〇	二八七、五〇〇	六、七七四	三	五	二	三	一三
昭和八年	株式	五二、三六二、二〇〇	三四、一九八、二〇四	五、三二八、七一四	一九	二六	一五	一五	七五
	合資	二、二五八、六〇〇	三、二三五、六〇〇	二、八六〇	九	三一	二	一六	五八
	合名	二九三、五〇〇	二九三、五〇〇	二、七六八	三	四	二	三	一二

三八、銀行及會社

種別	名稱	位置	設立年月	營業ノ目的	總資本額	拂込資本金	積立金
株式	盛岡電燈株式會社	紺屋町	明治卅七年七月	電力供給	一〇、七八五、〇〇〇円	八、三三七、三三〇円	六六〇、〇〇〇円
同	盛岡織物株式會社	加賀野	同四十一年五月	織物製造	五〇、〇〇〇	三七、五〇〇	—
同	小野商店	吳服町	同年六月	金錢貸付	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	三六、〇〇〇
同	岩手商會	茅町	同	物品販賣	一〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	一四、〇四五
同	盛岡麥酒販賣株式會社	肴町	同年八月	麥酒販賣	五〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一二、六四〇
同	盛岡屠場	內丸	同年十月	屠殺	二〇、〇〇〇	一二、五〇〇	一、五三五
同	盛岡製綿株式會社	松尾前	同四十四年五月	綿製造	三〇〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	—
同	盛岡劇場株式會社	志家	大正二年一月	興行	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二、八〇〇
同	川口荷札株式會社	日影門外小路	同三年七月	荷札製造	一〇〇、〇〇〇	六二、五〇〇	—
同	盛岡製粉株式會社	大澤川原小路	同年十一月	粉製造	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二、六〇〇
同	實業貯金株式會社	葺手町	同四年一月	貸金業	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	六、〇五〇
同	岩手農蠶株式會社	大澤川原小路	同七年三月	蠶種製造	一〇〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	—
同	岩手林業株式會社	同	同七年四月	種苗販賣	二〇〇、〇〇〇	二二五、〇〇〇	—
同	盛岡無盡株式會社	吳服町	同八年六月	無盡業	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	三四、八〇〇
同	岩手無盡株式會社	內丸	同九年一月	無盡業	五〇〇、〇〇〇	一七五、〇〇〇	二二三、五〇〇
同	岩手興農株式會社	大澤川原小路	同年二月	農蠶具製造	一〇〇、〇〇〇	三一、〇〇〇	六〇

種別	名稱	位置	設立年月	營業ノ目的	總資本額	拂込資本額	積立金
株式	岩手日報社	內丸	同九年二月	新聞發行	八〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	—
同	岩手製氷株式會社	本町	同十年二月	天然氷貯藏販賣	二〇〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	三,〇〇〇
同	八幡自動車株式會社	八幡町	同年六月	旅客運業	六,二〇〇	六,二〇〇	一,一一〇
同	盛岡倉庫株式會社	平戸	同年八月	貨物ノ保管貸倉	五〇〇,〇〇〇	一二五,〇〇〇	七,五〇〇
同	岩手貯蓄銀行	肴町	同十年十二月	貯蓄銀行業	五〇〇,〇〇〇	三八,七五〇	三,〇〇〇
同	盛岡博善株式會社	紙町	同年十月	葬祭具ノ貸付	五〇,〇〇〇	二五,〇〇〇	二,九四七
同	岩手信用株式會社	花屋町	同年二月	金錢貸付土地賣買	10,000	五,〇〇〇	一九〇
同	三陸運送株式會社	下厨川	同年五月	貨物運送業	三〇,〇〇〇	一〇,九二〇	二,五八〇
同	東北衛器株式會社	馬場小路	同年十月	衛器製作	三〇〇,〇〇〇	七五,〇〇〇	六,二〇〇
同	岩手製綿株式會社	西下臺	同十二年十一月	製綿業	100,000	五〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
同	村井商事株式會社	鉈屋町	同十三年三月	物品委託販賣	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	九〇〇
同	盛岡タオル株式會社	雛子小路	同年二月	タオル製造	七〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	七〇〇
同	盛岡土地建物株式會社	紺屋町	同年四月	不動産賣買	二〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	一,三〇〇
同	盛岡農具株式會社	新穀町	同年十月	農具販賣	100,000	二五,〇〇〇	一,四五〇
同	南部履物株式會社	上衆小路	同年十二月	履物製造	10,000	二,五〇〇	—
同	東北製綿株式會社	松尾前	同十三年六月	各種製綿	一五,〇〇〇	八二,五〇〇	八,三〇〇
同	盛岡市場繭絲株式會社	神明前	同年九月	繭絲賣買	七五,〇〇〇	一八,七五〇	—
同	盛岡實業交益株式會社	茅町	同年十月	金錢貸付業	五〇,〇〇〇	二五,〇〇〇	一,三〇〇
同	盛岡土地株式會社	呉服町	同年十二月	土地賣買	100,000	三五,〇〇〇	—
同	盛岡興信株式會社	六日町	同年三月	信託業	二,〇〇〇,〇〇〇	一,二〇〇,〇〇〇	—
同	盛岡合同運送株式會社	平戸	昭和二年一月	運送取扱	三〇〇,〇〇〇	一三八,〇〇〇	二〇,五〇〇
同	糸屋呉服店	新穀町	同年四月	呉服業	二〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	五〇〇
同	盛岡特産株式會社	仁王	同年六月	製材業	100,000	五〇,〇〇〇	-
同	南部土地株式會社	大澤川原小路	同年九月	不動産賣買	一,〇〇〇,〇〇〇	四五〇,〇〇〇	一一,〇〇〇
同	岩手自動車販賣株式會社	新築地	同三年四月	自動車販賣修繕	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇

種別	名稱	位置	設立年月	營業ノ目的	總資本額	拂込資本額	積立金
株式	金田一同族株式會社	上衆小路	昭和三年十二月	有價證券不動産所有賣買	100,000	五〇,〇〇〇	—
同	東洋産業株式會社	花屋町	同四年二月	精稗製造	五〇,〇〇〇	一二,〇〇〇	八〇
同	三田商會	內丸	同年四月	火藥銃砲カーバイト販賣	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二三〇,〇〇〇
同	村源商店	肴町	同年一月	藥品及度量衡販賣	100,000	二五,〇〇〇	二,〇〇〇
同	砂子田商會	呉服町	同年六月	質屋業	10,000	二,五〇〇	—
同	岩手縣是製絲株式會社	木伏	同年十月	生糸製造	三,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇
同	楓園社	內加賀野	同年七月	有價證券不動産賣買	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	—
同	編助足袋岩手縣販賣株式會社	十三日町	同年三月	編助足袋販賣	五〇,〇〇〇	一二,五〇〇	三一〇
同	上盛岡合同運送株式會社	上田中堰	同二年二月	運送業	五〇,〇〇〇	一七,五〇〇	二,五〇〇
同	盛岡不動産株式會社	內丸	同五年二月	不動産賣買	三〇〇,〇〇〇	七五,〇〇〇	一,二〇〇
同	盛岡モーター商會	日影門外小路	同年三月	自動車同附屬品賣買	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	二,九五〇
同	盛岡瓦斯株式會社	六日町	同年五月	瓦斯製造販賣	二五〇,〇〇〇	二二五,〇〇〇	—
同	宮重商店	材木町	同年七月	呉服太物卸販賣	二〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	—
同	池野株式會社	新穀町	同年十二月	公債々券所有販賣	100,000	100,000	一,〇〇〇
同	木津屋本店	新穀町	同年十二月	紙類文房具類販賣	100,000	100,000	三〇〇
同	大東商事株式會社	菜園	同年十二月	仲介業	10,000	10,000	—
同	平金商店	肴町	同六年一月	學用品販賣	五〇,〇〇〇	一二,五〇〇	—
同	井彌醬油店	紙町	同年一月	醬油製造	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	—
同	岩手金融商事株式會社	呉服町	同年六月	動産不動産有價證券賣買	一,〇〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	—
同	木津屋銅鐵店	肴町	同年七月	建築材料販賣	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	—
同	協信社	小人町	同年十月	有價證券及不動産賣買	五,〇〇〇	五,〇〇〇	—
同	盛岡食品市場株式會社	菜園	同年十二月	魚介蔬菜仲立業	五〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	四,四五〇
同	岩手殖産銀行	肴町	同七年五月	銀行業	二,100,000	二,100,000	一一〇,七三三
同	杜陵商事株式會社	呉服町	同年五月	銀行整理事務	二〇,〇〇〇	五,〇〇〇	—
同	富國商會	六日町	同年八月	徴兵火災生命保險業務	10,000	二,五〇〇	—
同	千代田商會	六日町	同年八月	千代田生命火災保險會社ノ業務	二〇,〇〇〇	五,〇〇〇	—

種別	名稱	位置	設立年月	營業ノ目的	總資本額	拂込資本額	積立金
株式	小西屋	鷹匠小路	昭和七年九月	物品販賣	三、〇〇〇	一、五〇〇	—
同	富士屋印刷所	六日町	同九年六月	印刷及製本	二〇、〇〇〇	一八、〇〇〇	—
同	平和商會	加賀野	同年八月	不動産有價證券賣買	二〇、〇〇〇	五、〇〇〇	—
同	東榮商會	餌差小路	同年九月	不動産賣買	五〇、〇〇〇	三七、五〇〇	—
同	中谷商店	餌差小路	同十年五月	質屋業	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	—
同	岩手日産自動車商會	菜園	同年六月	自動車販賣	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	—
同	中央映畫劇場	菜園	同年六月	興業	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	—
同	中和商店	新設町	同年七月	不動産賣買	一〇、〇〇〇	二、五〇〇	—
同	鍵屋	肴町	同年九月	酒類販賣	二〇、〇〇〇	一六、〇〇〇	—
同	資生堂盛岡販賣株式會社	紺屋町	同年十二月	化粧品商	一〇、〇〇〇	七、五〇〇	—
合資	一栁合資會社	東中野	明治四十五年四月	土地建物賣買	一二、五〇〇	一二、五〇〇	—
同	盛岡常設家畜市場	松尾前	大正三年一月	馬賣買仲立業	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	—
同	岩手燒合資會社	山岸	同年十月	陶器製造販賣	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	—
同	盛興社	生姜町	同十二年七月	土木建築請負	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	—
同	丸橋商店	仁王小路	昭和二年二月	書籍販賣	三、〇〇〇	三、〇〇〇	—
同	丸共岩手食料品販賣合資會社	馬場小路	同年三月	食料品製造販賣	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	—
同	齋藤鐵工場	三戸町	同年七月	鐵工業	三、八〇〇	三、八〇〇	—
同	阿部商店	花屋町	同年十一月	酒類販賣	五、〇〇〇	五、〇〇〇	—
同	常盤電氣工業所	八日町	同二年十二月	電氣工業請負	五、〇〇〇	五、〇〇〇	—
同	仁王製材所	仁王小路	同年四月	製材業	三、五〇〇	三、五〇〇	—
同	昭和興信所	大澤川原小路	同年九月	調査受託法律鑑定	二、〇〇〇	二、〇〇〇	—
同	木津屋砂糖店	材木町	同年二月	砂糖販賣	三、五〇〇	三、五〇〇	—
同	盛岡煉炭合資會社	材木町	同三年七月	煉炭製造販賣	二、八〇〇	二、八〇〇	—
同	叶豐醤油店	十三日町	同四年五月	醤油味噌製造	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	—
同	光衛社	大清水小路	同年十月	有價證券賣買	四五、〇〇〇	四五、〇〇〇	四〇

合資	三田合資會社	内丸	昭和四年十二月	林業	一、四五〇、〇〇〇	一、四五〇、〇〇〇	—
同	吉田自動車合資會社	松尾前	同年十二月	自動車運輸業	三、〇〇〇	三、〇〇〇	—
同	三上商店	新穀町	同五年一月	酒類販賣	六、〇〇〇	六、〇〇〇	—
同	盛岡代理業合資會社	肴町	同年二月	火災保險代理業	五〇〇	五〇〇	—
同	平出商店	肴町	同年三月	金物類卸販賣	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	—
同	大黒屋	材木町	同年三月	菓子製造	二、二〇〇	二、二〇〇	—
同	北盛社	紺屋町	同五年四月	文案圖案作製	五五、〇〇〇	五五、〇〇〇	一、八五〇
同	中田商會	大澤川原小路	同年五月	鐵瓶其ノ他販賣	五、〇〇〇	五、〇〇〇	—
同	近五洋品店	本町	同年五月	各種洋品販賣	三、〇〇〇	三、〇〇〇	—
同	東興社	大澤川原小路	同年七月	石炭類販賣	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	三〇〇
同	國定教科書特約販賣所	肴町	同年十月	教科書販賣	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、二〇〇
同	稲荷場呉服店	仙北町	同年十一月	呉服太物商	三、〇〇〇	三、〇〇〇	—
同	遅澤洋服店	本町	同年十一月	洋服製造	五、〇〇〇	五、〇〇〇	—
同	平忠商店	山岸	同年十二月	醤油製造	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	—
同	木村工務店	長町	同年十二月	土木建築請負業	五、〇〇〇	五、〇〇〇	—
同	菊池倉庫	仙北町	同年十二月	倉庫業	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	一〇〇
同	山口活版所	内丸	同年十二月	活版印刷	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇〇
同	中源商店	穀町	同年十二月	酒類販賣	一、五〇〇	一、五〇〇	—
同	日東商事合資會社	加賀野新小路	同六年二月	債券及土地賣買仲介	四、〇〇〇	四、〇〇〇	—
同	水品堂	川原小路	同年四月	眼鏡販賣	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—
同	小川商店	鉈屋町	同年六月	雜貨販賣	三、五〇〇	三、五〇〇	—
同	栁村釣具店	新築地	同年八月	魚釣具製造	二、〇〇〇	二、〇〇〇	—
同	岡喜商店	肴町	同年十一月	不動産賃貸	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	—
同	矢幅藥舗	本町	同年十二月	藥品及醫療器販賣	三、〇〇〇	三、〇〇〇	—
同	舘屋商店	本町	同年六月	呉服雜貨	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	—
同	鍋田商店	餌差小路	同年九月	製綿業	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二八〇
同	川村洋服店	肴町	同年十月	洋服雜貨販賣	三、五〇〇	三、五〇〇	—

種別	名稱	位置	設立年月	目的	總資本額	拂込資本額	積立金
合資	小松屋商店	茅町十一	昭和六年十一月	履物販賣	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
同	菱田組	三ツ割	同年十二月	薪炭販賣	五、〇〇〇	五、〇〇〇	
同	東山堂	肴町	同八年二月	書籍販賣	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	
同	直治商店	新築地	同年三月	海產物販賣	一、五〇〇	一、五〇〇	
同	丸イ商會	紺屋町	同年四月	電氣工業請負	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	
同	中儀商店	川原町	同年四月	小間物文具販賣	六、〇〇〇	六、〇〇〇	
同	稻茂吳服店	仙北町	同年十二月	吳服太物	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
同	伊藤仙商店	茅町	同九年三月	洋品雜貨販賣	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	
同	岩手來油商會	大通	同年五月	石油揮發油販賣	四〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	
同	及新合資會社	油町	同年十月	動產不動產販賣	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	
同	大三保會社	下臺	同年十月	不動產ノ賣買	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
同	製氷冷藏庫	平戸口	同十年三月	製氷業	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
同	純東化學研究所	大澤川原小路	同年七月	セメント製品	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	
同	吉田時計店	本町	同年九月	時計販賣	三、五〇〇	三、五〇〇	
同	丸三合資會社	新築地	同年十月	動產不動產賃貸	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
同	鈴木農具製作所	多賀一	同九年十一月	農具製造	五、〇〇〇	五、〇〇〇	
同	光葉堂藥店	八幡町	同十年十一月	賣藥	五、〇〇〇	五、〇〇〇	
同	太田商店	内加賀野	同年二月	古物商	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
同	宮田洋品店	大澤川原小路	同年十月	洋品商	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
同	中村商店	肴町	同年五月	曲物商	五〇〇	五〇〇	
同	盛岡電化工業所	馬町	同年七月	電燈工業	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	
同	竹屋商店	川原町	同年	仕立商	四、〇〇〇	四、〇〇〇	
合名	盛岡麵製造合名會社	紺屋町	大正二年九月	麵製造販賣	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
同	盛岡醬油合名會社	仙北町	同四年二月	醬油味噌酢製造	一四〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
同	平野商店	穀町	同八年二月	和洋菓子販賣	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一、一〇〇
同	川徳吳服店	肴町	同年八月	吳服業	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	
同	工藤家具店	肴町	同九年一月	家具製造	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
同	村井質店	花屋町	同年七月	質屋業	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
同	木徳商店	上紫小路	同年十二月	酒類販賣	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	

三九、實業團體及組合

名稱	事務所	設立年月	組合人員	昭和十年經費
岩手縣農會	内丸七〇ノ二	明治三七年一二月	一市三郡農會 二四	三一、四四六
岩手縣產馬畜產組合聯合會	岩手縣廳内	同廿三年九月	組合 三三	三一、四四〇
岩手郡農會	仁王小路一五七	同廿九年四月	市町村會 三三	一〇、三三一
盛岡市農會	内盛岡市役所内	昭和三年四月	一、六三三	三、六〇〇
岩手縣葉煙草聯合會	内盛岡市役所内	同年一月	家具製造業 三一	五、一三〇
盛岡產馬畜產組合	松尾前 五七	同五年 六月	組合 三	六、四三〇
盛岡商工會議所	内盛岡市役所内	同十四年二月	三、二〇〇	三、二〇〇
盛岡市養蠶業組合	内盛岡市役所内	昭和六年三月	四	二、五〇〇
杜陵養蠶實行組合	内 丸六四	同	六四	一〇〇
上米内養蠶實行組合	上米内字中居五	同年十一月	三五	一、四〇〇
下米内養蠶實行組合	下米内四四	同年十一月	三	一二〇
庄ヶ畑養蠶實行組合	上米内字砂子澤二四	同年十一月	一三	一二〇

産業組合

名稱	事務所	設立年月	組合員	昭和十年經費
有限責任盛岡信用組合	六日町 一〇三	明治三十六年一月	三、一三八	三、二七二、二七
同盛岡靴工購買組合	六日町 一六	大正四年九月	二九	二〇〇、〇〇
同杜陵信用購買組合	岩手縣廳內	同 五年四月	三〇〇	二一〇、〇〇
同盛岡洋服購買組合	六日町 一六	同 七年四月	一二一	六、二四三、八一
同盛岡裝蒲購買組合	大澤川原小路六六	同十三年一月	五四	二、八三五、〇〇
同盛岡藝妓購買販賣利用組合	仁王菜園 三五	同 五年九月	三一七	一、〇〇〇、〇〇
保證責任岩手縣信用組合聯合會	同 二〇	同 六年八月	二三六	一、四〇五、〇〇
同岩手縣購買販賣組合聯合會	仁王菜園三ノ四	同 六年八月	組合 二三五	二、八三三、〇〇
有限責任盛岡消費組合	菜園 一ノ九九	同 五年七月	三八〇	四、一四〇、〇〇
同購買利用組合盛岡病院	紙町 四	同 八年三月	四、三一一	—
保證責任盛岡購買利用組合共榮社	日影門外小路	同 年四月	二四	—
有限責任山岸信用販賣購買利用組合	山岸 四〇	昭和十年七月	二四	—

商業組合

名稱	事務所	設立年月	組合員	昭和十年經費
保證責任盛岡乘用自動車商業組合	菜園 二三	昭和八年三月	二八	—
同盛岡學用品商業組合	肴町 四	同 年 五月	一三	—
同盛岡浴場商業組合	平戸 六九	同 年 四月	二一	二〇〇、〇〇
同盛岡海產物商業組合	菜園 二三	同 年 十月	八〇	—
同盛岡理髮商業組合	八日町 四	同 九年六月	六二	二五九、〇〇
同盛岡酒類販賣商業組合	油町 三一五	同 十年五月	四七	一〇〇、〇〇
同岩手石材商業組合	松尾 前	同 年 七月	一六	—
同岩手海產物商業組合	菜園 二三	同 年 一月	一八	—
同盛岡洗濯クリーング商業組合	內加賀野 三一	同年 十一月	一八	二六、〇〇

工業組合

名稱	事務所	設立年月	組合員	昭和十年經費
保證責任盛岡木工家具工業組合	紺屋町 一三	昭和八年九月	三三五	三一、二六〇、〇〇
同南部鐵瓶業組合	內丸（工業試驗場內）	同 十年九月	一六八	二、二五〇、〇〇

同業組合

名稱	事務所	設立年月	組合員	昭和十年經費
岩手縣蠶種同業組合	內丸（縣廳內）	明治三九年十二月	七八	一、三五二、〇〇
岩手縣木炭移出同業組合	內丸（縣廳內）	昭和二年五月	三四	三四、一〇〇、〇〇

準則組合及任意組合

名稱	事務所	設立年月	組合員	昭和十年經費
盛岡菓子商組合	大澤川原小路四二	明治七年三月	六〇	二〇〇、〇〇
盛岡人力車營業組合	吳服町 二五	同二十年四月	一〇〇	二〇、〇〇
盛岡旅館組合	六日町 一五	同三十三年二月	九九	一〇〇、〇〇
盛岡履物商組合	葺手町 一三	同三十二年七月	三六	三〇、〇〇
盛岡染物業組合	油町 一八	同三十四年六月	一〇	一四〇、〇〇
盛岡屋根業組合	十三日町 一九	同三十六年二月	三六	三八、〇〇
岩手縣酒造組合	瓶屋町 一五三	同 年 五月	一六	三、四〇、〇〇
盛岡穀物商組合	葺手町 六三	同三十八年一月	一〇	三〇、〇〇
盛岡豆腐商組合	志家 六一	同三十九年四月	九	一〇、〇〇
盛岡為替屋業組合	本町 八五	同四十年十二月	三	三〇、〇〇
盛岡古物商組合	八日町 二〇四	同四十三年八月	一〇〇	三〇、〇〇
盛岡小間物商組合	三戸町 一四八	同 年 一月	四四	—
盛岡化粧品商組合	穀町 三二二	同四十四年十二月	三八	八、二九、二九
盛岡煙草業組合	六日町 一三	大正四年五月	組合 一一	一、〇〇〇、〇〇
岩手縣醬油釀造組合本部	同 年 六月		一一	三、〇〇〇、〇〇
岩手縣醬油釀造組合支部	本町 三八		一一	三、〇〇〇、〇〇
盛岡印刷業組合	六日町 二一	同 五年九月	二〇	九九、九八

名稱	事務所	設立年月	組合員	昭和十年經費
盛岡料理屋組合	大工町 二八	大正六年五月	六八	二三六、四〇〇
盛岡米穀商組合	茅町 一	同年 十月	一一〇	二〇〇、〇〇〇
盛岡荷馬車業組合	仙北組町 二	同七年十一月	一二五	四〇、〇〇〇
盛岡醬小賣業組合	穀町 三二二	同 八年三月	一三二	一〇〇、〇〇〇
盛岡結髪組合	新穀町 一一三	同年 一月	六五	三〇、四〇〇
盛岡牛物商組合	川原町三六	同年 八月	三三	三〇、〇〇〇
岩手縣書籍商組合	肴町 四	同年 十一月	一五五	五八、四一〇
盛岡指物業組合	内丸（工業試驗場内）	同 九年二月	四三	一、一〇〇、〇〇〇
盛岡牛乳販賣組合	内丸（盛岡警察署内）	同年 七月	二六	一四七、〇〇〇
盛岡鍼灸按摩療治組合	仙北町 八〇	同 十年五月	一六	三〇、〇〇〇
盛岡紹介業組合	八幡町 六四	同年 五月	七	一〇、〇〇〇
盛岡牛馬商組合	松尾前五十ノ一	同十二年十一月	一〇五	一四〇、〇〇〇
盛岡時計商工組合	呉服町 一	同十二年六月	三三	一四〇、〇〇〇
盛岡機織工業組合	大澤川原小路六	同十三年二月	二一	二六、〇〇〇
盛岡輸業組合	本町 九	同 九月	四一	二四〇、〇〇〇
盛岡木炭移出業組合	日影門（盛岡林産物檢査所内）	同年 七月	一八	三〇、〇〇〇
岩手桑苗生産組合	新築地 一一七	同年 九月	一七	一四〇、〇〇〇
山岸農産物出荷組合	山岸町 二九	同年 十月	二五	一四〇、〇〇〇
南部服物業組合	三戸町 二四九	同十四年十月	二五	一四〇、〇〇〇
岩手縣蒲糸業組合	内丸	同十五年五月	四八	五〇、〇〇〇
盛岡親友會	内丸 四方岡内	同 年 六月	九三	二四〇、〇〇〇
下臺出荷組合	下臺 三八	同十五年十月	八一	三五、四五〇
盛岡左官業組合	長町 四四	同 年 九月	一五	一四〇、〇〇〇
盛岡肉商組合	茅町 一三	昭和二年一月	一七	一、一〇〇、〇〇〇
青物町出荷組合	青物町 六	同 三年五月	二三	二六、〇〇〇
		同年 十一月	三六	—

四〇、商工會議所（市役所内）

年次	議員定數	顧問役員定數	會議事件數	會議 一級	會議 二級	會議 計	有權者	經費
昭和十年	五〇	八	四一	六八	四八	九六	五八	九二、六〇〇
同 九年	五〇	八	三三	九六	八七	一八三	五四	九八、八四〇
同 八年	五〇	八	四一	八一	五三	一三四	五四	八二、三四〇

四一、職工人員

年次	大工	木挽	左官	鍛冶	石工	植結	屋根葺	其ノ他	計
昭和十年	七八五	一二〇	四二八	一二五	一五三	一四二	二一五	二一四	四二九
同 九年	七三三	一二〇	四三五	一二五	一五二	一四四	二一七	二一四	四三五
同 八年	七〇四	一二一	四三九	一二五	一五四	一四五	二一九	二一四	四三八

四二、重ナル工場

名稱	位置	創立年月	主要製品
岩手日報社	内丸	明治四年七月	新聞紙

名稱	位置	創立年月	主要製品
富士屋印刷所	六日町	同二十八年四月	印刷
山口活版所	内丸	同三十年二月	同
神山印刷所	十三日町	同四十年一月	石版印刷
長内印刷所	鍛冶町	大正元年十二月	印刷
大典堂印刷所	村木町	同四年十月	同
吉田印刷所	大澤川原路	同十年九月	同
福島印刷所	四ツ家町	同　年十二月	同
杜陵印刷所	紺屋町	同十一年十一月	同
昭典堂印刷所	仁王小路	昭和六年七月	同
村井酒造工場	鉈屋町	明治四年十月	酒類
濱藤酒造第一工場	仙北町	同九年五月	同
濱藤酒造第二工場	鉈屋町	同十一年十月	同
近三酒造場	川原町	同十五年十月	同
平六酒造場	鍛冶町	昭和二年三月	同
木津屋醤油醸造場	六日町	天保十二年	醤油、味噌、酢
井彌醤油醸造場	紙町	明治十八年十月	同
石川醤油醸造場	八日町	同廿三年八月	醤油
加登屋醤油醸造場	仙北組町	同廿六年一月	醤油、味噌、酢
盛岡醤油製造合名會社	仙北町	大正二年二月	同
岩手飲料品合資會社工場	馬場小路	昭和三年六月	食料品罐詰
丸三葉子種工場	鷹匠小路	大正七年十月	菓子種製造
澤藤製材所	新築地	明治四十年一月	製材
宮崎製材所	下名須川	大正三年十月	同
丸橋製材所	杉土手	同　六年十月	同
渡邊木管製作所	大澤川原路	同　七年一月	同

名稱	位置	創立年月	主要製品
仁王製材所	仁王小路	大正十年八月	製材
石黒製材所	新築地	同十一年七月	同
吉田製材所	雛子小路	同　年七月	同
村田製材所	松尾前	同十四年十月	同
川村製材所	下田	昭和二年二月	同
北上製材所	多賀	同五年十一月	同
小川製材所	同	同六年二月	同
畑山製材所	同	同　年三月	同
山田木工場	下名須川	昭和九年一月	同
諏訪製材所	中堰	同九年四月	同
外川梃工場	杉土手	明治四十一年一月	屋根梃製造
田山家具工作所	紺屋町	同四十二年四月	家具
川村嬌寸軸木工場	中堰	昭和五年十二月	軸木
岩手燒合資會社工場	山岸	明治四十年四月	朱泥陶器
木村瓦工場	花屋町	同八年九月	煉瓦瓦土管
木村瓦工場	上田北山	大正二年四月	同
工藤瓦工場	北山七九	同十年三月	同
木村瓦工場	北山七九	同十年三月	同
阿部鐵工場	三戸町	明治廿九年五月	鐵工品
福田機械製作所	大澤川原路	同三十年四月	諸機械鐵工品
仁王鐵工場	同	同九年一月	建築材機械類
有坂鐵瓶工場	加賀野	明治元年五月	鐵瓶
荻野鐵瓶工場	中小路	同廿五年三月	同
柳舘鐵瓶工場	同	同四十五年二月	同
成瀨鐵瓶工場	新庄	大正七年十月	同
照水鐵瓶工場	餅差小路	同九年四月	同
吉岡鐵工場	大澤川原路	同二年五月	鑄造業
高橋鑄金研究所	田畑	同三年二月	同

名稱	位置	創立年月	主要製品
坂本鍛冶工場	川原町	明治十年 五月	農具及物
小山農具製作所	大澤川原小路	同廿九年 五月	農具金具
鈴木農具製作所	川原町	同三十年 五月	農具
東北衡器株式會社工場	馬場小路	同十年 五月	衡器製作修繕
齋仁織布工場	松尾前	大正七年 七月	織物
盛岡タオル工場	蟹子小路	同十二年 二月	タオル
盛岡製綿株式會社工場	松尾前	明治四十四年五月	打綿
山崎綿打工場	三戸町	同 年 四月	製綿
東北製綿株式會社工場	松尾前	同 二年 二月	同
岩手製綿株式會社工場	西下臺	大正十一年 十月	同
岩手縣是製絲株式會社盛岡工場	下厨川	明治四十年 七月	生糸
青山動力裁縫所	川原町	大正四年 七月	仕立物
八千代商會工場	穀町	同 七年 五月	同
岩手洋服店	葺手町	明治三十年 四月	洋服裁縫
遲澤洋服店工場	吳服町	同 五年 八月	同
飯塚洋服店工場	日影門外小路	同 十年 二月	同
佐々木洋服店裁縫徒弟養成所	看町	昭和二年 八月	同
川口荷札株式會社	日影門外小路	明治三十七年十月	紙荷札
多田靴製造所	同四十四年 四月	靴製造	
駒井靴馬具店	茅町	同四十一年 十月	靴製造及馬具
盛岡モーター商會自動車修繕工場	內丸	昭和三年 四月	自動車修繕
岩手自動車販賣株式會社	新築地	同 三年 十月	自動車販賣及修繕
西村疊工場	鉈屋町	明治二年 五月	疊製造
瀧川疊工場	紺屋町	大正元年 十月	同
盛岡製粉株式會社	大澤川原小路	同 三年 十月	製粉製造

四三、生産額要覽

年次	農産物	畜産物	林産物	鑛産物	水産物	工産物	計
昭和十年	三一八、六四四、四〇六	二、九一五、六五	七一、二九二	一五、三五六	五、三五〇、三〇一	六、一三〇、三〇一	
同 九年	三一七、一〇三、五四四	二、七一六、二三	四、八六八、七七三	五、七三一、四六三			
同 八年	三一八、五六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 七年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 六年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 五年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 四年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 三年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 二年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			
同 一年	三一八、四六六、三四〇	二、七一〇、四二	四、三五一、三五一	一、九〇五、一六二			

名稱	位置	創立年月	主要製品
松田屋製藥工場	川原町	明治二十一年九月	菓子製造
關口屋製菓工場	內加賀野	同 二十七年三月	同
櫻屋製菓工場	新穀町	同 二十八年八月	同
大丸屋製菓工場	紺屋町	同 三十二年九月	同
日進堂製菓工場	本町	大正二年 八月	同
平野煎餅工場	穀町	同 三年 五月	煎餅製造
宮田製パン工場	三戸町	同 八年 六月	パン製造
小野千秋堂製パン工場	下厨川	昭和三年 三月	同
北田かまぼこ工場	本町	大正十三年 二月	食料品製造
盛岡汽力發電所	平戸	同十五年 四月	電力發生
盛岡瓦斯株式會社瓦斯工場	同	昭和五年 十二月	石炭瓦斯ノ發生

四四、主ナル製產品

種別	和十年 數量	和十年 價額	昭和九年 數量	昭和九年 價額	昭和八年 數量	昭和八年 價額	昭和七年 數量	昭和七年 價額	昭和六年 數量	昭和六年 價額	昭和五年 數量	昭和五年 價額	昭和四年 數量	昭和四年 價額	昭和三年 數量	昭和三年 價額	昭和二年 數量	昭和二年 價額	昭和元年 數量	昭和元年 價額
綿織物	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
絹交織物	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
綿織物（小幅物）	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
綿織物（廣幅物）	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
特殊（タオル其ノ他）	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

種別	昭和十年 數量	昭和十年 價額	昭和十年 戶數	昭和十年 男工	昭和十年 女工	昭和九年 數量	昭和九年 價額	昭和九年 戶數	昭和九年 男工	昭和九年 女工
計	二七、一四四	二六、六七二	二	一	二	—	三一、九三三	二	四	二
生糸	二三、九三〇	一、〇四八、五三三	一	四〇	三六〇	二〇、〇五三	七〇一、四三五	一	四二	三四五
屑物	二八、五四二	五三、五六七				二五、八四五	四六、八三三			
眞綿	八一	一、八六三	九	—	九	一〇〇	二、二五〇	九	—	九
製綿	一八三、八五一	五五三、八五一	三	三三	九八	九八四四一、七七二	五六六、六六六	四	三三	一〇五
染物	三、九五四	一一、五〇一	三五	六七	—	五、〇八七	一六、〇五二	三四	六四	二
染物 其他	—	一六、八三〇				—	一一、五六五			
帽子	二四〇	二、一六〇	三	四	二	二〇〇	一、七五〇	三	四	二
洋服類	—	一七八、三八〇	八八	一八九	四三	—	一八八、三五〇	八一	一九五	三七
牛物類	—	一四三、二九九	一〇六	六九	一四〇	—	一二三、一四〇	一〇〃	五六	一〇四
メリヤス	—	二〇、六四三	四	五	三三	—	七、一五四	三	五	八
煉瓦	二三〇、〇〇〇	四、六〇〇	一	二	二	四五、〇〇〇	九〇〇	四	二九	一三
瓦	四、三五三	一三、三四〇	四	四三	一四	二、五七六	一〇、三〇四			
土管	七、八〇〇	三、〇〇〇	三	九	六	二、〇〇〇	四〇〇			
漆器	—	二六、三三〇	一八	三七	—	—	二六、三八〇	一七	三三	—
荏油	八、五〇〇	二、〇四〇	一	二	—	九、一五〇	二、一九六	二	二	—
刷子	—	三、一一三	二	五	一	二三〇	二、一九八	三	七	—
鐵瓶湯釜	八三、一四三	二〇八、〇五七	一二四	二九一	—	八五、三九七	二五五、九四一	一三〇	二九七	—
花瓶其ノ他	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	—	—	—	一〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	—	—	—
刄物類	—	一〇、一三五	一五	三五	—	—	一一、三九五	一四	三四	—
農具類	—	一六、六六八	一九	三六	—	—	一六、三一五	一七	三六	—
金屬品其他	—	二三五、六〇五	一一〇	二七四	—	—	二三九、六三六	九一	二五二	—
指物類	—	一五三、四五〇	九四	二一七	—	—	一六六、二七二	九八	二三三	—
桶樽類	—	一七、二八〇	三二	八二	—	—	二六、〇三〇	三三	五六	—
車輛	五〇	四、〇〇〇	四	四	—	五五	四、四〇〇	四	四	—
提灯	三、五〇〇	一、八七〇	五	五	一	三、八五〇	二、〇五五	七	五	—
紙器	—	七、八〇〇	九	一八	八	—	一一、四七〇	一三	二三	二三
傘	四、三〇〇	二、五八〇	五	七	一三	四、〇〇〇	二、四〇〇	四	六	四
竹工品	—	二、四三五	七	八	六	—	二、七一五	八	一〇	五
靴	四、七六九	三三、三八七	三〇	五六	—	三、一一六	二六、四八八	二九	五四	—
革製品其他	—	四、七九〇				—	五、二六〇			
香油類	—	八、八〇〇	三	五	二	—	八、〇〇〇	三	四	二
下駄及足駄 素地	—	三一、四〇五	五七	八三	—	—	三三、七八〇	五九	八六	—
草履及下駄	七、八〇〇	二三、四四八	六	八	三	五三、〇〇〇	一三、七〇〇	三	五	—
下駄製品	一五、七二五	六二、九〇〇	三七	八三	—	—	—	—	—	—
足袋	一〇、九五〇	[illegible]	四	六	一〇	三一、八〇〇	一一、一二〇	六	四	一二
曲物類	—	五、二〇〇	九	一三	四	—	五、二三〇	九	一三	四
挽物	—	二、三一〇	五	八	—	—	二、三八〇	五	八	—
箱類	—	八、八六〇	二	六	二	—	五、六〇〇	二	六	二
木箸	—	二〇〇	—	—	—	—	八〇	—	—	—
筆	三、五〇〇	七〇〇	一	一	—	三、〇〇〇	六〇〇	一	一	—
荷札	—	一七〇、二七〇	二	六四	二八	一三三、六〇〇、〇〇〇	一三三、六〇〇、〇〇〇	二	六二	一八
印刷物及製本	—	二八二、一四二	三八	二六二	一三	—	二四九、九二七	三五	二六五	—
石工品	—	四八、三三〇	四三	九〇	—	—	五〇、九八〇	三三	八七	—
墨	五三、三〇〇	二六、六五〇	二五	五一	—	一六、三六五	三二、七二〇	三〇	四四	—
量衡器	一九、一五〇	七二、二八〇	一	二一	—	二一、六四五	七九、一三〇	一	二〇	—
菓子及パン類	—	五〇三、七六〇	二八四	三四八	二二四	—	三二一、四三三	二〇六	二八二	一五三
饂飩素麪	二四、五四二	一五、五四二	五	九	三	二五、六〇〇	一六、四〇六	四	八	三
蕎麥粉	二六一、五〇〇	二一、二八五	二〇	二三	一一	一三〇、〇一〇	二〇、七〇五	一八	二三	一〇
豆粉	二四、五七〇	二、八七三				一二、九三八	四、九〇二			
其ノ他粉類	一七八、二〇〇	四五、四五四				一六三、一〇〇	一六、三一〇			
菓子種	—	三八、八〇三	八	二	一四	—	二七、七三〇	三	八	六
牛乳	一、〇一七	四〇、六八〇	一三	—	—	八九九	三五、九六〇	一四	—	—

四五、主要保管貨物（△ハ減）

品名	前年繰越高	入庫高	出庫高	差引殘高	前年末増減比較
	數量	數量	數量	數量	數量
内國米	一、三〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、三〇〇	△二〇〇
臺灣米	九〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	九〇〇	△一〇〇
麥類	六〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	六〇〇	△三〇〇
豆類	二、一〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、一〇〇	△二〇〇
雜穀類	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	△二〇〇
醬油	二、四〇〇	二、六〇〇	二、六〇〇	二、四〇〇	△二〇〇
酢	一、二〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	△二〇〇
味噌	二、一〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、一〇〇	△二〇〇
麹	五〇〇	六〇〇	六〇〇	五〇〇	△一〇〇
酒類	五、一〇〇	五、八〇〇	五、八〇〇	五、一〇〇	△二〇〇
箱詰	二、三〇〇	二、六〇〇	二、六〇〇	二、三〇〇	△二〇〇
繊維製品	二、五〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	二、五〇〇	△二〇〇
雜貨類	一、二〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	△二〇〇
清酒	六、五〇〇	七、二〇〇	七、二〇〇	六、五〇〇	△七〇〇
白酒	三〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三〇	△三〇〇
焼酎	四、一〇〇	四、六〇〇	四、六〇〇	四、一〇〇	△五〇〇
計	六、六三〇	七、四〇〇	七、四〇〇	六、六三〇	△七七〇
ラムネ	一三、六〇〇	一四、四〇〇	一四、四〇〇	一三、六〇〇	△八〇〇
サイダー	七〇〇	九〇〇	九〇〇	七〇〇	△二〇〇
製氷（飲用）	一〇〇、〇〇〇貫	一二〇、〇〇〇貫	一二〇、〇〇〇貫	一〇〇、〇〇〇貫	△二〇、〇〇〇貫
製氷（雜用）	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	△二〇〇
生豆腐	五、八〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇	五、八〇〇	△六〇〇
凍豆腐	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	△二〇〇
切干大根	三、一〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、一〇〇	△五〇〇
麩類	八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	△二〇〇
納豆	一、三〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、三〇〇	△一〇〇
計	一二、九〇〇	一四、二〇〇	一四、二〇〇	一二、九〇〇	△一、三〇〇

四六、桑畑桑葉及蠶種

年次	桑畑反別	桑葉	蠶種製造
	高木中刈 根守 計	改植高 價額 百貫	一付區別 瓦數 價額 單價 戸數
昭和十年	三八・六 九・九 四八・五	一、八〇〇 一二、六〇〇	普通蠶種 一、八〇〇 一三、五〇〇 七・五 一八〇
同九年	四一・八 八・八 五〇・六	一、八〇〇 一二、六〇〇	普通蠶種 一、八〇〇 一三、五〇〇 七・五 一八〇
同八年	四三・七 八・〇 五一・七	一、七〇〇 一一、九〇〇	普通蠶種 一、七〇〇 一二、七五〇 七・五 一七〇

四七、養蠶

種別	昭和十年	同九年	同八年
飼養戸數	六四	六四	六四
春蠶	一二	一二	一二
夏秋蠶	八	七	七
計	一九	一九	一九
春蠶	八	七	七
夏秋蠶	一二	一二	一二
計	二〇	一九	一九

種別	昭和十年		昭和九年		昭和八年	
	春蠶	夏秋蠶計	春蠶	夏秋蠶計	春蠶	夏秋蠶計
掃立數量	一・〇六	三・〇六	一・〇五	三・〇五	一・〇四	三・〇四
一瓦收繭量	四・〇一	四・〇一	四・〇一	四・〇一	四・〇一	四・〇一
收繭 數量	四二〇	一二一・〇	四二〇	一二一・〇	四二〇	一二一・〇
收繭 價額	一・二三	三・五二	一・二三	三・五二	一・二三	三・五二
收繭 單價	二・九四	二・九〇	二・九四	二・九〇	二・九四	二・九〇
玉繭 數量	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一	一二一
玉繭 價額	一・二八	一・二八	一・二八	一・二八	一・二八	一・二八
玉繭 單價	一〇・五七	一〇・五七	一〇・五七	一〇・五七	一〇・五七	一〇・五七
屑繭 數量	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
屑繭 價額	一・〇五	一・〇五	一・〇五	一・〇五	一・〇五	一・〇五
屑繭 單價	一〇・五〇	一〇・五〇	一〇・五〇	一〇・五〇	一〇・五〇	一〇・五〇
計 數量	一・二二一	一・二二一	一・二二一	一・二二一	一・二二一	一・二二一
計 價額	一・二三	三・五二	一・二三	三・五二	一・二三	三・五二

四八、主ナル農産物

種別	昭和十年 作付反別	昭和十年 一反當收穫高	昭和十年 價額	昭和九年 作付反別	昭和九年 一反當收穫高	昭和九年 價額	昭和八年 一反歩收穫高
粳米	二、六六〇	一・四五	四、三〇〇	二、六六〇	一・四五	四、三〇〇	一・四五
糯米	二、〇一〇	一・四五	三、二五〇	二、〇一〇	一・四五	三、二五〇	一・四五
大麥	二、三八〇	一・七〇	二、七〇〇	二、三八〇	一・七〇	二、七〇〇	一・七〇
小麥	九一〇	一・〇〇	九一〇	九一〇	一・〇〇	九一〇	一・〇〇
粟	一、四〇〇	一・〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一・〇〇	一、四〇〇	一・〇〇
黍	四九〇	一・〇〇	四九〇	四九〇	一・〇〇	四九〇	一・〇〇
蕎麥	三八〇	一・〇〇	三八〇	三八〇	一・〇〇	三八〇	一・〇〇

種別	作付反別	一反當收穫高	價額
大豆	五一八	一・〇	五一八
小豆	三六七	一・〇	三六七
菜豆	二四一	一・〇	二四一
豌豆	一五六	一・〇	一五六
玉蜀黍	三三一	一・〇	三三一
馬鈴薯	一、二四五	一〇・〇	一二、四五八
蘿蔔	二、三八一	一〇・〇	二三、八一〇
甘藷	四一	一〇・〇	四一〇
里芋	二七一	一〇・〇	二七一〇
蕪菁	一八一	一〇・〇	一八一〇
漬菜	二、二七〇	一〇・〇	二二、七〇〇
甘藍	二二五	一〇・〇	二二五〇
胡蘿蔔	二二五	一〇・〇	二二五〇
葱	一、一四〇	一〇・〇	一一、四〇〇
午蒡	一五一	一〇・〇	一五一〇
蓮根	三二五	一〇・〇	三二五〇
慈姑	二一二	一〇・〇	二一二〇
牛蒡	一〇〇	一〇・〇	一〇〇〇
胡瓜	二八一	一〇・〇	二八一〇
南瓜	三四一	一〇・〇	三四一〇
西瓜	一七一	一〇・〇	一七一〇
胡瓜	二〇〇	一〇・〇	二〇〇〇
玉葱	一〇〇	一〇・〇	一〇〇〇
苺	一四〇	一〇・〇	一四〇〇
生姜	四五	一〇・〇	四五〇
蕃茄	一六一	一〇・〇	一六一〇
茄子	一二一	一〇・〇	一二一〇

四九、果物

種別	昭和十年 樹數	昭和十年 收穫高	昭和十年 價額	昭和十年 單價（一貫目）	昭和九年 樹數	昭和九年 收穫高	昭和九年 價額	昭和九年 單價（一貫目）
梨	一、七八五	一〇、四二七	四、一七一	四〇	三、一〇八	二三、四七三貫	八、七八九円	三九銭
苹果	一、九七〇	一三、二二四	四、八八六	四〇	二、六〇七	一六、一六三	六、四六五	四〇
葡萄	二、五八五	七、四九七	二、六二四	三五	四、七〇〇	一三、一六〇	四、六〇六	三五
桃	一、二九〇	三、二二五	九六八	三〇	一、二九〇	四、一二八	一、〇三二	二五
柿	七九九	二、三九七	一、〇〇七	四二	一、二二〇	一五、八六〇	七九三	五
櫻桃	七〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇	七五〇	二、七〇〇	三、一〇五	一、一五
梅	五八〇	四四	八八〇	一升二〇	五七〇	五一石	一、三七七	一升二七

五〇、家禽

種別	飼養戸數 十羽未滿	飼養戸數 十羽以上	飼養戸數 五十羽以上	家禽（以上六月末日現在） 成禽數	價額	雛數	價額	前年七月ヨリ其年六月マデノ生產 產卵	價額
鷄	四八一	二五八	三四	九、五九二	六、五九五	四、六二二	一、三八三	一、一二四、五〇〇	三三、四九〇
鶩	五	五	—	八八	八八	一三一	一〇一	一〇、八〇〇	三二四
計	四八六	二六三	三四	九、六八三	六、六八三	四、七五三	一、四八四	一、一三五、三〇〇	三三、八一四
昭和九年	三五六	一五三	一六	七、八五五	五、四一三	三、七〇四	一、一三一	九〇七、一三五	一八、二九三
昭和八年	四九四	二七一	三五	一〇、四三五	七、一八二	四、八〇三	一、三五七	一、二〇三、四三五	二四、二六三

五一、家畜

種別		昭和十年 牝	昭和十年 牡	昭和九年 牝	昭和九年 牡	昭和八年 牝	昭和八年 牡
牛	出產	九	二一	二七	八	二七	一三
	斃死	一	—	五	二	三	—
	年末現在	一〇四	五	一三〇	七	一一〇	一二
馬	出產	二一	一五	二三	二三	三〇	三四
	斃死	—	二	九	四	一三	四
	年末現在	四二四	一九八	四七四	二四四	四七七	二五九
豚	出產	八六二	四九五	八五八	四九六	四五〇	四〇一
	斃死	七三	三八	九五	四二	三四	三六
	年末現在	二八八	一八五	一三三	一一〇	一三九	一六二

五二、屠畜

種別	頭數	肉量（瓩）	販賣人
牛	二九〇	七〇、一七五	七
馬	二三三	三九、三九七	三
豚	二、二七七	一三四、〇〇五	五
羊	四〇	五七八	一
計	二、八四〇	二四四、一五五	三五
昭和九年	二、五六七	二三五、一五五、七五〇	一九七
同八年	二、六〇六	六〇五、三〇〇、〇〇〇	一九七

五三、家畜市場

種別		開場度數	出場頭數 牝	出場頭數 牡	販賣頭數 牝	販賣頭數 牡	販賣價額 牝	販賣價額 牡	最高	最低	平均
昭和十年	牛	二	四二九	三五一	四二九	三五一	四六、二〇六	二一、五六〇	牝 二九五円 牡 三四二	三五、〇〇円 一九、〇〇	一〇七、七一 六一、四三
	馬	一〇二	一、三七八	一、四六四	六〇八	四九二	六五、六四九	九三、〇八三	牡 九〇〇 牡 一、七〇〇	一〇、〇〇 二九、〇〇	一〇七、八二 一八九、一五
昭和九年	牛	一〇	五八五	二八八	五八五	二八八	七二、六六九	一九、四四三	牝 三一五 牡 二六五	五三、〇〇 二五、〇〇	一二四、三三 —
	馬	常設	一、三四八	一、六〇九	四九三	四六四	四一、三一七	七三、三二四	牝 八〇〇 牡 二、〇〇〇	九、〇〇 三〇、〇〇	六七、五一 一一九、六九
昭和八年	牛	一三	七一三	二四八	五九〇	一九八	二一、一四六	一〇、一五五	牝 一、三五〇	一〇、〇〇	九四、〇三
	馬	常設	九〇八	一、三〇九	四九〇	三七五	四一、二七三	六六、七〇三	牡 二、〇〇〇	三〇、〇〇	一七七、八六

五四、賃金

種別	給別	昭和十年上半期 最高	普通	最低	昭和十年下半期 最高	普通	最低	昭和九年度 最高	普通	最低
農業日雇 男	日給	八〇銭	七〇銭	五〇銭	八〇	七〇	五〇	八〇	七〇	五〇
農業日雇 女	同	六〇	四〇	三五	六〇	四〇	三五	六〇	四〇	三五

種別	給別	昭和十年下半期 最高	昭和十年下半期 普通	昭和十年下半期 最低	昭和十年上半期 最高	昭和十年上半期 普通	昭和十年上半期 最低	昭和九年度 最高	昭和九年度 普通	昭和九年度 最低
養蠶雇 男	日給	.70	.60	.50	.70	.60	.50	.70	.60	.50
養蠶雇 女	同	.40	.35	.30	.40	.35	.30	.40	.35	.30
機械織女	同	.60	.45	.40	.60	.45	.40	.60	.45	.40
製糸女工	同	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90
塗師	同	1.50	1.20	.80	1.50	1.20	.80	1.50	1.20	.80
ペンキ職	同	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00
飾職	同	1.50	1.20	.70	1.50	1.20	.70	1.50	1.20	.70
染物職	同	1.50	1.20	.70	1.50	1.20	.70	1.80	1.30	.70
和服仕立職	同	1.30	1.00	.80	1.30	1.00	.80	1.30	1.00	.80
洋服仕立職	同	2.00	1.00	1.00	2.00	1.30	1.00	2.00	1.30	1.00
木挽職	同	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00
樵夫	同	.80	.70	.50	.80	.70	.50	.80	.70	.50
大工職	同	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00
左官職	同	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00
屋根職	同	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00	1.30	1.20	1.00
煉瓦積職	同	1.50	1.30	1.00	1.50	1.30	1.00	1.50	1.30	1.00
指物職	同	1.50	1.20	1.00	1.50	1.20	1.00	1.50	1.20	1.00
經師職	同	1.50	1.00	.70	1.50	1.00	.70	1.50	1.00	.70
疊刺工	同	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90
石工	同	1.60	1.30	1.00	1.60	1.30	1.00	1.60	1.30	1.00
植木職	同	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90
菓子職	月給	30.00	15.00	10.00	30.00	15.00	10.00	30.00	15.00	10.00
下駄工	日給	1.30	1.10	.70	1.30	1.10	.70	1.30	1.10	.70
靴工	同	1.50	1.20	.70	1.50	1.20	.70	1.50	1.20	.70
車製造職	日給	1.50	1.20	1.00	1.50	1.20	1.00	1.50	1.20	1.00
鑄物職	同	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90	1.40	1.20	.90
鍛冶職	同	1.40	1.20	.80	1.40	1.20	.80	1.40	1.20	.80
瓦製造工	同	1.30	1.00	.70	1.30	1.00	.70	1.30	1.00	.70
陶器職工	同	1.30	1.00	.70	1.30	1.00	.70	1.30	1.00	.70
精米製粉工	同	1.20	1.00	.60	1.20	1.00	.60	1.20	1.00	.60
仲仕	同	1.00	.80	.50	1.00	.80	.50	1.00	.80	.50
綿打職	同	1.50	1.10	.70	1.50	1.10	.70	1.50	1.20	.70
活版植字工	同	1.20	1.10	.70	1.20	1.10	.70	1.20	1.10	.70
石版工	同	1.50	1.30	.70	1.50	1.30	.70	1.50	1.30	.70
桶職	同	1.50	1.20	1.00	1.50	1.20	1.00	1.50	1.20	1.00
杜氏	月給	35.00	30.00	15.00	35.00	30.00	15.00	35.00	30.00	15.00
醬油製造工	同	35.00	20.00	10.00	35.00	20.00	10.00	35.00	20.00	10.00
日雇人夫 男	日給	1.00	.80	.60	1.00	.80	.60	1.00	.80	.60
日雇人夫 女	同	.70	.50	.40	.70	.50	.40	.70	.50	.40
下男	月給	10.00	7.00	5.00	10.00	7.00	5.00	10.00	7.00	5.00
下女	同	7.00	5.00	3.00	7.00	5.00	3.00	7.00	5.00	3.00

五五、物價

品種	立物	單位	一月	三月	五月	七月	九月	十一月	平均
白米 上	地元產	一瓩	24	24	23	24	24	23	錢 23.7
白米 中	同	同	23	23	22	23	23	22	22.7
白米 下	同	同	22	22	21	22	22	21	21.7
糯米	同	同	27	27	31	29	30	29	28.8
大麥	同	同	10	12	11	9	11	11	10.7

品種	立物	單位	一月	三月	五月	七月	九月	十一月	平均
精麥 平麥	地元産	一瓩	一八	一九	一六	一六	一六	一六	一六、八
精麥 挽割	同	同	—	—	—	—	—	—	—
小麥	同	同	一〇	一三	九	九	一〇	一〇	一〇、〇
稗	同	同	七	七	七	七	七	八	七、三
精稗	同	同	—	—	—	—	—	—	—
粟	同	同	九	一〇	八	八	九	一二	九、三
精粟	同	同	—	—	—	—	—	—	—
大豆	同	同	一四	一五	一四	一四	一四	一四	一四、二
小豆	同	同	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六、〇
菜豆	同	同	一八	一九	一九	二〇	二〇	一八	一九、〇
豌豆	同	同	—	—	—	—	—	—	—
小麥粉	同	同	二三	二六	二六	二六	二三	二六	二四、七
澱粉	北海道産	同	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七、〇
甘藷	大宮産	同	六	六	—	一三	六	五	六、〇
馬鈴薯	北海道産	同	四	五	五	三	五	四	四、三
清酒	地元産	一立	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二、〇
麥酒	北海道産	一本	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五、〇
サイダー	地元産	同	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八、〇
醤油	同	一立	二四	二五	二五	二五	二五	二五	二四、八
味噌	同	一瓩	一八	一九	一九	一九	一九	一九	一八、八
鰹節	宮古産	同	一、二五	一、七五	一、七五	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五四、一
砂糖 白	臺灣産	同	四四	四四	四四	四五	四五	四五	四四、五
砂糖 赤	同	同	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五、〇
砂糖 黒	同	同	—	—	—	—	—	—	—
砂糖 ザラメ	同	同	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五、〇

品種	立物	單位	一月	三月	五月	七月	九月	十一月	平均
煎茶	山城産	六〇〇瓦	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇	一、二〇、〇
番茶	同	同	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇、〇
中牛肉	地元産	百瓦	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五、〇
中豚肉	同	同	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三、〇
鷄肉	同	同	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六、〇
鷄卵	同	一瓩	四五	四〇	四五	五〇	六五	六〇	五〇、八
牛乳	同	二立	七	七	七	七	七	七	七、〇
鹽鮭	カムサツカ産	一瓩	三〇	三八	四二	二五	三〇	三八	三三、八
縞木綿	地元産	一反	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五、〇
晒木綿	遠州産	同	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇、〇
石油	越後産登奈印	一立	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九、〇
コークス	東京	一五瓩	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八、〇
薪雜木	地元産	一立方米	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、八〇、〇
石炭	北海道産	一五瓩	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四、〇
木炭（楢）	地元産	同	七六	七六	七二	七二	七二	七二	七三、三
同（雜）	同	同	六〇	五五	五〇	五〇	五〇	五〇	五二、五

九、金融

五六、銀行及組合貸付

名稱	年內貸付金 貸付金	年內貸付金 當座貸越	年內貸付金 計	年末現在 貸付金	年末現在 當座貸越	年末現在 計	年末現在 口數
日本勸業銀行盛岡支店	一、一三〇、六五五円	—	一、一三〇、六五五円	一六、四八八、五六六	—円	一六、四八八、五六六円	二〇、六四三
岩手貯蓄銀行	五一、一五三	—	五一、一五三	一五九、四九一	—	一五九、四九一	八三
岩手殖産銀行	一六、五三四、四八四	三、八六三、〇五〇	二〇、三九六、五三四	三、一〇七、三〇六	四六三、八八一	三、五七〇、一八七	一、一三五
盛岡信用組合	一、二三九、八五三	一、一七二、二三九	二、四一二、〇九二	一、〇〇六、一二六	二四三、三七五	一、二四九、五〇一	二、七四七
合計	一八、九五六、一四三	五、〇三四、二八九	二三、九九〇、四三二	二〇、七六一、四八九	七〇六、二五六	二一、四六七、七四五	二四、六九六

名稱	年末現在 貸付金	當座貸越	計	口數
昭和九年	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
同　八年	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二

五七、銀行及組合貯金

名稱		昭和九年	同　八年
岩手殖産銀行	定期 預入	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	定期 拂戻	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
日本勸業銀行盛岡支店	當座 預入	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	當座 拂戻	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	特別當座 預入	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	特別當座 拂戻	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	其ノ他 預入	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	其ノ他 拂戻	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	計 預入	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	計 拂戻	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	年末現在高	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	年末現在人員	三、三四四	三、三四四
盛岡信用組合	計	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二

五八、銀行手形

名稱	勘定	金額	荷爲替	割引	代金取立
岩手殖産銀行	取組	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
日本勸業銀行支店	取立	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	當所拂	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	他所拂	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	當所拂	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
	他所拂	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二

盛岡信用組合		年末現在 貯金高	人員
昭和九年	計	三、三四四、三五二	三、三四四
同　八年	計	三、三四四、三五二	三、三四四

五九、貯蓄銀行其ノ他ノ貯金

名稱	新規預入人員	貯金額	拂戻高	年末現在 貯蓄高	人員
岩手貯蓄銀行	一、三四二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四
盛岡信用組合	—	—	—	—	—
計	一、三四二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四
昭和九年	一、三四二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二	三、三四四
同　八年	—	—	—	—	—

六〇、郵便貯金

局名	新規貯金人員	貯金口數	金額	拂戻口數	金額	年末現在 貯金高
盛岡郵便局	三、四四八	七、三四四	三、三四四、三五二円	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二円
村木町郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
本町郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
上田郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
新穀町郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
仙北町郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
驛前郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
外加賀野郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
大通郵便局	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
計	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
昭和九年	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二
同　八年	三、四四八	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四	三、三四四、三五二	三、三四四、三五二

六一、郵便爲替振替貯金

局名		爲替振出		爲替拂渡		振替拂込		振替拂渡	
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
盛岡郵便局	昭和九年	七四、五八二	一、三八、一二三	一三、一八八	二、一三、八二九	一三、一八八	二、一三、八二九	一、一三、一八八	一、一三、八二九
市内八局分	同 八年	七〇、七一三	一、三二、一四五	一三、一八〇	二、一三、一四五	一三、一八〇	二、一三、一四五	一、一三、一八〇	一、一三、一四五
盛岡郵便局	昭和九年	七二、二四五	一、一九、一二八	一三、一八八	二、一三、八二九	一三、一八八	二、一三、八二九	一、一三、一八八	一、一三、八二九
市内八局分	同 八年	七〇、七一三	一、一二、一四五	一三、一八〇	二、一三、一四五	一三、一八〇	二、一三、一四五	一、一三、一八〇	一、一三、一四五

六二、質屋

年次		貸出		受戻		流質		年末現在	
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
昭和十年		一〇、八六二	二〇三、七六三	一〇、八六二	二〇三、七六三	一、一八六	一、九八三、七六三	一、一八六	一、九八三、七六三
同 九年		一二、四六九	一、一九、八〇九	一二、四六九	一、一九、八〇九	一、一八六	一、九八三、七六三	一、一八六	一、九八三、七六三
同 八年		一二、四六九	一、一九、八〇九	一二、四六九	一、一九、八〇九	一、一八六	一、九八三、七六三	一、一八六	一、九八三、七六三

一〇、衛生

六三、醫師

年次		大學卒業	專門學校卒業	試驗及第	其ノ他	計	齒科醫師	專門學校卒	試驗及第	計
昭和十年		五四	六二	一	一	一二八		一四	一	一五
同 九年		五五	六二	一	一	一二九		一四	一	一五
同 八年		五七	六二	一	一	一三一		一四	一	一五

六四、藥剤師、産婆、看護婦其ノ他

年次		藥劑師		産婆	看護婦	鍼灸術	接摩	接骨
		專門學校卒	試驗及第	計					
昭和十年		一三	一一	二四	一〇	一	一	一
同 九年		一三	一一	二四	一〇	一	一	一
同 八年		一三	一一	二四	一〇	一	一	一

六五、製藥其ノ他

年次		賣藥製造		賣藥請賣		賣藥行商	
		人員	方數	人員	方數	人員	方數
昭和十年		三一	三四	三一	三四	一二	一二
同 九年		三一	三四	三一	三四	一二	一二
同 八年		三一	三四	三一	三四	一二	一二

六六、病院

名稱		醫師	藥劑師	調劑員	看護婦	同産婦見習	産婆	事務員	開院日數	患者實人員 入院	患者實人員 外來	施療
日本赤十字社岩手支部病院	昭和九年	一六	四	三	三	八	一	三	三六五	一、一〇二	二、一〇三	二、一七
	同 八年	一六	四	三	三	八	一	三	三六五	一、一〇二	二、一〇三	二、一七
岩手醫學專門學校附屬病院	昭和九年	四三	二	二	六	二	一	二	三六五	二、一三四	七、九三五	一、四八
	同 八年	四三	二	二	六	二	一	二	三六五	二、一三四	七、九三五	一、四八
盛岡病院	昭和九年	一三	二	二	五	二	一	二	三六五	一、一六	九、三三	三
	同 八年	一三	二	二	五	二	一	二	三六五	一、一六	九、三三	三
市立市民病院	昭和九年	二	一	一	二	一	一	一	三六五	九九	四、八六六	八
	同 八年	二	一	一	二	一	一	一	三六五	九九	四、八六六	八
盛岡市診療所	昭和九年	二	一	一	二	一	一	一	三六五	九九	四、八六六	八
	同 八年	二	一	一	二	一	一	一	三六五	九九	四、八六六	八
計	昭和九年	六〇	一一	一〇	一八	一四	三	一〇	一四六〇	五、三七〇	二五、八六六	四、〇一〇
	同 八年	六〇	一一	一〇	一八	一四	三	一〇	一四六〇	五、三七〇	二五、八六六	四、〇一〇

六七、傳染病患者

病名	昭和十年		昭和九年		昭和八年	
	患者	全治 死亡	患者	全治 死亡	患者	全治 死亡
腦脊髓膜炎	二一七	一八 二	二一三	一九三	二四五	一九四
パラチフス	六三	六二	一七三	一六二	一四四	一三四
實布的里亞	九七	八一	一〇三	九六	一四四	一三四
赤痢	一〇三	七一	一四四	一三三	一四四	一三四
猩紅熱	八七	七四	一〇七	九六	一四四	一三四
流行性腦脊髓膜炎	九 四	五 一	一三 一	一一 一	一四四	一三四
計	四五六	四五〇 八	五四四	五〇四 三	五三三	五〇四 三

六八、種痘人員

種別		公種痘			私種痘		
		善感	不善感	檢診未了	計	善感	不善感	計
第一期第一回	昭和九年	一、三五〇						
同 第二回	同							
第二期第一回	同	一、九五二						
同 第二回	同	三四						
計		三、一五六						
	昭和九年	三、二二三						
	同八年	二、〇三五						

六九、トラホーム檢診（春秋二回檢診ノ延人員）

種別	昭和十年		昭和九年		昭和八年	
	檢診人員	トラホーム疑似	檢診人員	トラホーム疑似	檢診人員	トラホーム疑似
壯丁及徵兵檢査ヲ受クヘキ者	三〇三	三八	七八九	三五	六五	三五
諸工場ノ職工	九二〇	八一	七八	五九	七一	四一
接客業者	三、四五七	二八	二、三五四	一二五	一、〇五九	一一
其ノ他	五、九三八	三五	三、二三五	二四	一、九〇	三
計	五、三三七	二四二	三、三三六	二一四	一、九三	三

七〇、死亡人病種別

種別	昭和十年	昭和九年	昭和八年
傳染性病	一、三二九	一、三二四	一、三二四
皮膚及筋肉病	七	一三	一三
骨及關節病	一三	一三	一三
血行器病	三四	三四	三四
神經系及五官器病	三四	三四	三四
呼吸器病	一一八	一一八	一一八
消化器病	二〇九	二〇九	二〇九
泌尿及生殖器病	三五	三五	三五
外傷性變病	一一	一一	一一
發育及榮養不良	九	九	九
中毒	一一	一一	一一
原因不明	一、三四二	一、三四二	一、三四二
計	一、三四二	一、三四二	一、三四二

七一、檢徵

七二、汚物掃除

年次	受検者	虫卵保有者		寄生虫卵保有者		疥癬患者	
		蛔虫		鞭虫			
		延人員	其ノ他	延人員	其ノ他	最長	最短
昭和十年	延人員 1,000						
同九年	同						
同八年	同 二,〇八五	三	一	三	一	八	一
		三	一	三	一	五	一
		一				九	

年次	掃除区域	注意事項	運搬出量	塵芥搬出量	人夫公共便所数
	面積	件数	延人員		
昭和十年	二,一六五,四〇五	四,三〇	荷馬車一〇	四,一二	二〇
同九年	二,一六五,四〇五	六,九五三	自動車一	六,九五三	一
同八年	二,一六五,四〇五	八,一六〇	同一	八,一六〇	一
		八,九九二	荷馬車一〇	四,一二	二〇

七三、清潔法施行

年次	春季		秋季		臨時	
	既済戸数	再施行戸数	既済戸数	再施行戸数	既済戸数	再施行戸数
昭和十年	三,〇〇二	三,〇八二	三,一八〇	三,一八〇		
同九年	三,〇八二	三,〇八二	三,一八〇	三,一八〇		
同八年	二,九二三	四,二三五	三,一八〇	三,一八〇		

一一、運輸交通

七四、東京及四隣道程

自盛岡至	東京	青森	秋田	宮古
汽車駅数	一〇	一〇	一〇	一〇
陸路キロ数	五五〇・九	一四八・一	一四八・一	一四八・一

七五、車輛

年次	荷車	自転車	自動車		
	人力車	荷積馬車	中小車	自動通常	荷積用	乗用	計
昭和十年	一〇五	一〇	大車一 リヤカー一	四三	六,六〇〇	四,二一	九,七一七
同九年	一〇五	一〇	二(一) 一	三八	六,六〇〇	四,二一	九,七一七
同八年	一〇五	一〇	二	三〇	六,六〇〇	四,二一	九,七一七
	一〇五	一〇	二	三〇	六,六〇〇	四,二一	九,七一七

七六、交通

種別	路線			車輛所数	往復人員	停留所数	一日平均乗降客	運賃
	起点地	終点地	距離					
市内自動車	—	—	—	一〇五	—	—	不定	五〇四,〇〇〇
市内乗合自動車	—	—	—	九	同	同	同	三,三〇〇
日詰行自動車	盛岡	日詰	四,一〇	一〇	三四,〇〇〇	二〇	三,八〇〇	三,四〇〇
長岡行自動車	盛岡	長岡	三,〇〇	二	五,八〇〇	四	七,〇〇〇	五,八〇〇
宮古行自動車	—	—	—	—	—	—	—	—
雫石行自動車	盛岡	雫石	六,〇〇	一	一,七〇〇	二	三,〇〇〇	二,四〇〇
志和行自動車	盛岡	志和	六,〇〇	二	五,八〇〇	四	七,〇〇〇	五,八〇〇

七七、汽車乗降客人員

月次	乗客			降客		
	一等	二等	三等	一等	二等	三等
盛岡駅	四,〇〇六	六,二〇二	六,九一八	四,〇〇六	六,二〇二	六,九一八
仙北駅	二四五	一,一二五	一,二〇五	二四五	一,一二五	一,二〇五
上盛岡駅	三四五	一,一二五	一,二〇五	三四五	一,一二五	一,二〇五
上米内駅	—	—	—	—	—	—
計	四,〇〇六	六,二〇二	六,九一八	四,〇〇六	六,二〇二	六,九一八
昭和九年	四二,七二四	八五,四四九	八二,四九九	四二,七二四	八五,四四九	八二,四九九
同八年	三五,七〇〇	八〇,〇二三	七六,二四〇	三五,七〇〇	八〇,〇二三	七六,二四〇

七八、汽車貨物

驛別	發送貨物		到着貨物	
	小荷物個數	同屯量貨物	小荷物個數	同屯量貨物
盛岡驛	一八五、二九〇	八四三、一九〇	一九五、四八〇	九三五、一四〇
仙北驛	一〇、〇三〇	八〇、一五〇	一二、三〇〇	一〇〇、一五〇
上盛岡驛	二、九二〇	二四、八三〇	四、〇八〇	三四、八三〇
上米内驛	一八	三四〇	四〇	一、四四〇
計	一九八、二四八	九三五、四九〇	二一二、五〇〇	一、〇七一、五二〇
昭和九年	二三五、八一一	一、一三五、一四〇	二一七、四二〇	一、一三五、一四〇
同八年	二二九、三五一	九六五、一二〇	二一〇、三六〇	一、〇一〇、一四〇

七九、宿屋及宿泊人

種別	昭和十年		昭和九年	
	宿泊人	延人員	宿泊人	延人員
旅籠	本縣人	一、一〇二	一、一二三	一、一二三
	他府縣人	六四〇	六四〇	六四〇
	外國人	一	一	一
	計	一、七四三	一、七六四	一、七六四
下宿屋	本縣人	四、八一〇	四、八一〇	四、八一〇
	他府縣人	一、五二五	一、五二五	一、五二五
	外國人	三	三	三
	計	六、三三八	六、三三八	六、三三八
木賃宿	本縣人	一、一三〇	一、一三〇	一、一三〇
	他府縣人	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇
	外國人	一	一	一
	計	二、六一一	二、六一一	二、六一一
計		一二、六八二	一二、七一三	一二、七一三

八〇、電話

		昭和十年	同九年	同八年
電話通信事務員	交換加入者	七六三	七一三	六八二
	公衆電話	七	七	六
	交換共逓單獨同接	一、一三五、四四六	一、一三五、四四六	一、一三〇、一四八
	計	一、一四九、二一六	一、一四九、二一六	一、一四三、一四八
線路延長	單線延長	三五〇、三四八粁	三五〇、三四八粁	三四九、九四四粁
	複線延長	三〇、四四八粁	三〇、四四八粁	三〇、四四八粁
	計	三八〇、七九六粁	三八〇、七九六粁	三八〇、三九二粁
到上ノ内ケーブル線路心線延長		一、八〇〇、〇〇〇粁	一、八〇〇、〇〇〇粁	一、八〇〇、〇〇〇粁

八一、郵便及電信

年次		昭和十年	同九年	同八年
無集配局所	切手賣捌所	九	九	九
集配	郵便	七	七	七
	通常郵便	七、二四五、〇二二	七、二四五、〇二二	七、二四五、〇二二
	小包郵便	二四、〇八三	二四、〇八三	二四、〇八三
	電信	一一、三八九	一一、三八九	一一、三八九
集配	郵便	六	六	六
	通常郵便	三〇、〇八八、二七二	三〇、〇八八、二七二	三〇、〇八八、二七二
	小包郵便	一、三四二、〇八〇	一、三四二、〇八〇	一、三四二、〇八〇
	電信	一三、九九二	一三、九九二	一三、九九二
集配	郵便	六	六	六
	通常郵便	六、一三八、七三二	六、一三八、七三二	六、一三八、七三二
	小包郵便	一三、九二〇	一三、九二〇	一三、九二〇
	電信	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇

八二、電燈

		昭和十年	昭和九年	昭和八年
線路延長		八五、一〇〇粁	八五、一〇〇粁	八五、一〇〇粁
線條百長		一四六、〇〇〇	一四六、〇〇〇	一四六、〇〇〇
弧光燈		四	四	四
街燈		一、一三八	一、一三八	一、一三八
白熱燈	三燈迄	九、六三八	九、六三八	九、六三八
	五燈以上	一、七二一	一、七二一	一、七二一
	計	一一、三五九	一一、三五九	一一、三五九
引用燈數	五燈以上	二、〇六〇	二、〇六〇	二、〇六〇
別燈數	五燈	九、三五一	九、三五一	九、三五一
	十燈	五、八〇三	五、八〇三	五、八〇三
	十六燈以上	三、三〇九	三、三〇九	三、三〇九
	計	一八、二六三	一八、二六三	一八、二六三
休燈		四三、七二三	四三、七二三	四三、七二三
計燈		一二、〇二二	一二、〇二二	一二、〇二二

一二、警　察

八三、警察配置

年次	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	計	巡出所	駐在所
昭和十年	一	一	四	七	四〇	五四	九	二
同九年	一	一	四	七	四二	五六	九	二
同八年	一	一	四	七	四二	五六	九	二

八四、財物被害

種別	被害件数	被害価格
強盗	一	一、一四六
窃盗	四六	一、一四六
掏摸	一	一、一四六
計	四八	一、一四六
屋内	一	一、一四六
屋外	四七	一、一四六
計	四八	一、一四六
昭和九年	一	一、一四六
同八年	一七	一、一四六

八五、變　死

種別	自殺		誤死		其ノ他		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
縊死	一三						一三	
自殺								
溺死	六	一					六	一
轢死	四						四	
毒薬								
其他	一五	四	一				一六	四
計	三八	五	一				三九	五
昭和九年	一						一	
同八年	一七	一					一七	一

八六、犯罪違反件数

年次	犯罪検挙件数	警察犯処問合件数	内務省令本縣令諸規則違反	人員	科料	拘留	科料	拘留	科料
昭和十年	男 五〇八 女 四二九	一〇四	二〇二	男 五〇七 女 四二九	一〇四	二〇二	七	三	一
同九年	男 三五〇 女 八〇	三八	一四九	男 三五〇 女 八〇	三八	一四九	一	一	一
同八年	男 三四三 女 三八	一三	一四九	男 三四三 女 三八	一三	一四九	一	一	一

八七、遺失物及拾得物

種別	昭和十年			昭和九年			昭和八年		
	遺失	拾得	遺失	拾得	遺失	拾得	遺失	拾得	
件数	一、二五五	六、七一九	一、二四八	六、七一九	一、二四八	六、七一九	一、二四八	六、七一九	
価額	貨幣	一、六二〇	四、三五四	一、六二〇	四、三五四	一、六二〇	四、三五四	円	
	衣類	四六	一三	四六	一三	四六	一三	一、六二〇	四、三五四
	家畜	三五	二〇	三五	二〇	三五	二〇	四六	一三
	内ノ其他	一、一二〇	一、一二〇	一、一二〇	一、一二〇	一、一二〇	一、一二〇	三五	二〇
	計	一、二〇一	一、一二〇	一、二〇一	一、一二〇	一、二〇一	一、一二〇	一、一二〇	一、一二〇
拾得物処分種別	官没	件数	一	一	一	一	一	一	一
		価額	一、四三六	一、四三六	一、四三六	一、四三六	一、四三六	一、四三六	一、四三六
	還付	件数	一	一	一	一	一	一	一
		価額	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
	給付	件数	一	一	一	一	一	一	一
		価額	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
	計	件数	三	三	三	三	三	三	三
		価額	三、九三六	三、九三六	三、九三六	三、九三六	三、九三六	三、九三六	三、九三六

八八、消防及火災

（警察署管内）

年次	消防組員	喞筒	腕達	火災件数	大事ニ火災	火災損害
						至ラサル戸数
	消防組	小頭	手	自動車	ガソリン使用	焼失不若シモ全半焼
昭和十年	正副 一一	三〇	一	一〇	一	一
同九年	正副 一一	三〇	二	一〇	一	一
同八年	正副 一一	三〇	二	一〇	一	一

八九、興行

年次	區別	演劇	相撲	手品	見世物	寄席	活動寫眞	其ノ他	計
昭和十年	度数	三〇	二	一八	三五	二四	三四	九一	一七四
同九年	度数	三五	二	三一	三五	二四	三四	九一	一七六
同八年	度数	三五	二	三一	三五	二四	三四	九一	一七六
同八年	日數	二五	四	二九	二八	二四	三四	九一	一七六

一三、社會事業

九〇、行旅病人及死亡人

年次	病人 男	病人 女	死亡人 男	死亡人 女	救助費 計	救助費 男	救助費 女
昭和十年	三〇〇	二四	二	一	二〇二	一七〇	三二
同九年	二四七	二六	二	一	一四九	一三五	一四
同八年	一四	三	一	一	一八	一四	四

九一、窮民救助

種別	前年繰越人員	新設	廃止	現在人員	救助金額
老衰	八二	四七	三五	九四	一、三九九、三〇
幼者	三〇	一〇	一	三九	一、三九九、三〇
疾病	三八	四一	三五	四四	一、三九九、三〇
産婦	一	一	一	一	一、三九九、三〇
不具廃疾者	一六	三	一	一八	一、三九九、三〇
計	四五	二一	一三	五三	一、三九九、三〇
昭和九年	三七	四五	三五	四七	一、三九九、三〇
同八年	二九	三七	二五	三一	一、三九九、三〇

九二、各種施設團體

種別	所在地	創立年月	事業目的	取扱件数
社團法人岩手保護院	鷹匠小路十一月	明治卅四年	司法保護	昭和十年同九年
財團法人岩手養育院	加賀野七	明治卅九年	孤児養育	九三表參照
同	加賀野	昭和七年四月	養老保護	同
人事相談所	警察署内	昭和十年六月	人事相談	同
兒童健康相談所	愛國婦人會岩手縣支部	昭和十一年六月	兒童健康ニ關スル相談	九二表參照
職業紹介所	内丸	昭和十三年二月	職業紹介	九二表參照
岩手保育園	赤十字社岩手支部内	昭和十年一月	妊産婦保護助産婦ノ派遣相談	事務員一 産婦四八 産兒一
保育所	三ツ割	昭和五年十月	托兒	事務員一 醫員一 保母一 托兒二五九
杜陵學院	久保屋敷	昭和四年四月	少年教護事業	九三表參照

九三、職業紹介所取扱數

職業別	求職數			求職者數			就職者數		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
工業及鑛業	一九	二九	三八	三八	二九	六七	一九	二九	四八
土木建築	二四三	三	二四六	二四三	三	二四六	二四三	三	二四六
商業	一〇五	一〇五	二一〇	一〇五	一〇五	二一〇	一〇五	一〇五	二一〇
農林業	三五〇	三	三五三	三五〇	三	三五三	三五〇	三	三五三
水產業	三八	三	四一	三八	三	四一	三八	三	四一
通信運輸	三	—	三	三	—	三	三	—	三
戶內使用	一八	三四四	三六二	一八	三四四	三六二	一八	三四四	三六二
雜業	一三三	九七	二三〇	一三三	九七	二三〇	一三三	九七	二三〇
無希望	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一、七一二	六六二	二、三七四	一、七一二	六六二	二、三七四	一、七一二	六六二	二、三七四
昭和九年	一、四〇二	六六六	二、〇六八	一、四〇二	六六六	二、〇六八	一、四〇二	六六六	二、〇六八
同八年	六六三	二、二四三	二、九〇六	六六三	二、二四三	二、九〇六	六六三	二、二四三	二、九〇六

九四、施設團體出入人員

名稱	昭和十年同九年同八年	岩手愛育院	岩手愛老院	杜陵學院	岩手保護院
繰越	男	一三	八	一	一
	女	一二	一二	一	一
新規收容	男	一二	八	一	一
	女	一	一	一	一
死亡	男	一	一	一	一
	女	一	一	一	一
出院人員	男	一	一	一	一
	女	一	一	一	一
年末現在	男	一二	八	一	一
	女	一二	一二	一	一
經費		一、二四〇、二四〇	一、一〇七、四〇	二四〇、〇〇〇	二、三四〇
繰越	男	一二	八	一	一
	女	一二	一二	一	一
新規收容	男	一二	八	一	一
	女	一	一	一	一
死亡	男	一	一	一	一
	女	一	一	一	一
出院人員	男	一	一	一	一
	女	一	一	一	一
年末現在	男	一二	八	一	一
	女	一二	一二	一	一
經費		一、二四〇、二四〇	一、一〇七、四〇	二四〇、〇〇〇	二、三四〇
繰越	男	一三	八	一	一
	女	一二	一二	一	一
新規收容	男	一二	八	一	一
	女	一	一	一	一
死亡	男	一	一	一	一
	女	一	一	一	一
出院人員	男	一	一	一	一
	女	一	一	一	一
年末現在	男	一二	八	一	一
	女	一二	一二	一	一
經費		一、二四〇、二四〇	一、一〇七、四〇	二四〇、〇〇〇	二、三四〇

九五、濟生會施療

年次	患者別	施療延日數	金額	
			醫通費	其ノ他
昭和十年	男	七九三	一四、一五九	—
	女	七八八	六、二四四	—
	一六九	一六九	一、九九六	—
同九年	男	七〇三	一〇、三九九	—
	女	六九三	六、二四四	—
	一六九	一六九	一、九九六	—
同八年	男	七〇三	九、〇九八	—
	女	六八八	五、八一二	—
	一六九	一六九	一、九九六	—

九六、市營住宅

所在地	段地總數	住宅種別	一戸當建坪	同戸數	建設年月	一戸當賃金	同家賃
第一期住宅							
加賀野第一地 （東文化小路）	五、〇二八	平家一戸建	三〇・三五	一五	大正十一年十一月	四	二、〇〇
		平家二戸建	三〇・三五	四	同	四	一、〇〇
		平家四戸建	二一・〇〇	一六	同	一	四、三五
第二期住宅							
東中野第一地 （斜字馬場小路 南文化小路）	二、三六八	平家一戸建	三〇・三五	一〇	同十三年五月	五	一、三五
		平家二戸建	三〇・三五	四	同	四	一、〇〇
第三期住宅							
上田第三九地 （斜字西下ヶ 西文化小路）	七三、三五	平家一戸建	三〇・三五	三	同十四年十一月	五	一、六〇
		平家二戸建	三〇・三五	二	同	四	一、三五
第三期住宅							
上田第三二地 （斜字申長根 北文化小路）	三、一二六	平家	一〇・〇〇	三	同	二	一、〇〇
		同	一〇・〇〇	三	同	二	一、二五

九七、住宅組合

名稱	創立年月	組合出資口數一口ノ金戸數	竣工建坪	人口數	最大	最小	平均
盛岡工場住宅組合	大正十一年五月	一五	一〇〇・〇〇	一五	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
岩手住宅組合	同　年七月	一八	一〇〇・〇〇	一八	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
文化住宅組合	同十三年六月	七	一〇〇・〇〇	七	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
杜陵住宅組合	同	三	一〇〇・〇〇	三	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
甲子住宅組合	同　年七月	七	一〇〇・〇〇	七	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
乙丑住宅組合	同十四年七月	三	一〇〇・〇〇	三	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
岩手協和住宅組合	同	一〇	一〇〇・〇〇	一〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
壽榮住宅組合	同十五年十月	八	一〇〇・〇〇	八	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
丙寅住宅組合	同　年十一月	一〇	一〇〇・〇〇	一〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
久保田住宅組合	同　年十月	一〇	一〇〇・〇〇	一〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
岩手昭和住宅組合	昭和二年四月	八	一〇〇・〇〇	八	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
昭和住宅組合	同	一三	一〇〇・〇〇	一三	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
仙北住宅組合	同	一〇	一〇〇・〇〇	一〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
五正住宅組合	同　三年二月	一一	一〇〇・〇〇	一一	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
昭運住宅組合	同　年五月	九	一〇〇・〇〇	九	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
盛岡實行住宅組合	同　年六月	一〇	一〇〇・〇〇	一〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
昭榮住宅組合	同　四年九月	七	一〇〇・〇〇	七	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
丁卯住宅組合	同　年五月	一〇	一〇〇・〇〇	一〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
計	（十八組）	一八五	一八五、一〇〇・〇〇	一八五	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
昭和九年	（十八組）	一八五	一八五、一〇〇・〇〇	一八五	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
同八年	（十八組）	一八五	一八五、一〇〇・〇〇	一八五	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

九八、國　稅

稅目	昭和十年		同九年		同八年	
	稅額	一人當	稅額	一人當	稅額	一人當
地租 賦課	三、〇九〇、〇〇〇	一、二四	三、〇九〇、〇〇〇	一、二四	三、〇九〇、〇〇〇	一、二四
地租 滯納	三、一四〇、〇〇〇	一、二六	三、一四〇、〇〇〇	一、二六	三、一四〇、〇〇〇	一、二六
一種所得稅 賦課	六六、三〇〇、〇〇〇	二六、七一	六六、三〇〇、〇〇〇	二六、七一	六六、三〇〇、〇〇〇	二六、七一
一種所得稅 滯納	三四、三〇〇、〇〇〇	一三、八二	三四、三〇〇、〇〇〇	一三、八二	三四、三〇〇、〇〇〇	一三、八二
二種所得稅 賦課	四三、四〇〇、〇〇〇	一七、四九	四三、四〇〇、〇〇〇	一七、四九	四三、四〇〇、〇〇〇	一七、四九
二種所得稅 滯納	—	—	—	—	—	—
三種所得稅 賦課	八四、二〇〇、〇〇〇	三三、九二	八四、二〇〇、〇〇〇	三三、九二	八四、二〇〇、〇〇〇	三三、九二
三種所得稅 滯納	七、四〇〇、〇〇〇	二、九八	七、四〇〇、〇〇〇	二、九八	七、四〇〇、〇〇〇	二、九八
營業收益稅 賦課	六七、一〇〇、〇〇〇	二七、〇二	六七、一〇〇、〇〇〇	二七、〇二	六七、一〇〇、〇〇〇	二七、〇二
營業收益稅 滯納	一、三〇〇、〇〇〇	五二	一、三〇〇、〇〇〇	五二	一、三〇〇、〇〇〇	五二
乙種資本利子稅 賦課	八〇、〇〇〇	三二	八〇、〇〇〇	三二	八〇、〇〇〇	三二
乙種資本利子稅 滯納	一二、〇〇〇	四	一二、〇〇〇	四	一二、〇〇〇	四
計 賦課	三五七、六八〇、〇〇〇	一四四、〇二	三五七、六八〇、〇〇〇	一四四、〇二	三五七、六八〇、〇〇〇	一四四、〇二
計 滯納	四〇、四二〇、〇〇〇	一六、二八	四〇、四二〇、〇〇〇	一六、二八	四〇、四二〇、〇〇〇	一六、二八
酒稅 賦課	三四、八〇〇、〇〇〇	一三、九九	三四、八〇〇、〇〇〇	一三、九九	三四、八〇〇、〇〇〇	一三、九九
酒稅 滯納	—	—	—	—	—	—
織物稅 賦課	一〇〇、〇〇〇	四〇	一〇〇、〇〇〇	四〇	一〇〇、〇〇〇	四〇
織物稅 滯納	—	—	—	—	—	—
相續稅 賦課	一九、三〇〇、〇〇〇	七、七六	一九、三〇〇、〇〇〇	七、七六	一九、三〇〇、〇〇〇	七、七六
相續稅 滯納	二、六〇〇、〇〇〇	一、〇四	二、六〇〇、〇〇〇	一、〇四	二、六〇〇、〇〇〇	一、〇四
合計 賦課	三九二、三八〇、〇〇〇	一五七、八一	三九二、三八〇、〇〇〇	一五七、八一	三九二、三八〇、〇〇〇	一五七、八一
合計 滯納	四二、四二〇、〇〇〇	一七、〇八	四二、四二〇、〇〇〇	一七、〇八	四二、四二〇、〇〇〇	一七、〇八

地租制 賦課	四六、三二〇、〇〇〇	特別地稅 賦課	四四、三〇〇、〇〇〇	家屋稅 賦課	三、一二〇、〇〇〇	試掘鑛區稅附加稅 賦課	七、三〇〇
地租制 滯納	一、三二〇、〇〇〇	特別地稅 滯納	一〇八、三〇〇	家屋稅 滯納	三一、〇〇〇	試掘鑛區稅附加稅 滯納	一、七二〇
地租附加稅 賦課	三、四二〇、〇〇〇	營業稅 賦課	九、八〇〇、〇〇〇	雜種稅 賦課	三〇、三〇〇、〇〇〇	計 賦課	三三、三二〇、〇〇〇
地租附加稅 滯納	三四、〇〇〇	營業稅 滯納	三、四〇〇、〇〇〇	雜種稅 滯納	三、〇三〇、〇〇〇	計 滯納	一、三四〇、〇〇〇
營業收益稅 賦課	七、〇三〇、〇〇〇	營業收益稅附加稅 賦課	一、一四〇、〇〇〇	所得稅附加稅 賦課	二、一三〇、〇〇〇		
營業收益稅 滯納	一、一四〇、〇〇〇	營業收益稅附加稅 滯納	一一四、〇〇〇	所得稅附加稅 滯納	二一三、〇〇〇		

一〇〇、市　稅

一〇一、市稅滯納處分

稅目	昭和十年		同九年		同八年	
	稅額	延人員	稅額	延人員	稅額	延人員
特別地稅附加稅	賦課 三二、六八	四	三、〇〇	一	二、六〇	一
	滯納					
家屋稅附加稅	賦課 四九、三〇	四	三、〇〇	一	九、〇三	一
	滯納					
縣稅營業稅附加稅	賦課 二二、五〇	二	六、〇〇	一	一、〇〇	一
	滯納					
同雜種稅附加稅	賦課 六、七〇	一	一、〇〇	一	一、〇〇	一
	滯納					
特別戶數割	賦課 一四、〇〇	一	一四、〇〇	一	一四、〇〇	一
	滯納					
縣稅營業稅附加稅	賦課 三、〇〇	一	三、〇〇	一	三、〇〇	一
	滯納					
同雜種稅附加稅	賦課 一、〇〇	一	一、〇〇	一	一、〇〇	一
	滯納					
特別戶數割	賦課 四、〇〇	一	四、〇〇	一	四、〇〇	一
	滯納					
試掘鑛區稅附加稅	賦課					
	滯納					
計	賦課 三四、六八	四	三、〇〇	一	二、六〇	一
	滯納					

稅目	昭和十年		同九年		同八年	
	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員
地租附加稅	三、二五	一、二八	三、二五	一、二八	三、二五	一、二八
營業收益稅附加稅	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八
縣稅營業稅附加稅	三、一八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八
同雜種稅附加稅	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
特別戶數割	一四、〇〇	一、〇〇	一四、〇〇	一、〇〇	一四、〇〇	一、〇〇
縣稅家屋稅附加稅	三、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	一、〇〇
試掘鑛區稅附加稅						
計	三四、六八	四、〇〇	三、〇〇	一、〇〇	二、六〇	一、〇〇

稅目	昭和十年		同九年		同八年	
	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員
督促狀ヲ發シタルモノ	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八
差押物件ヲ公賣シタルモノ						
差押後納付シタルモノ						
缺損ニ歸セシモノ						
未收入	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八	一、二八

一〇二、市歲入

科目	昭和十年		同九年		同八年	
	豫算額	決算額	豫算額	決算額	豫算額	決算額
財產ヨリ生ズル收入	七、三五、〇〇	一〇、三五、〇〇	七、三五、〇〇	一〇、三五、〇〇	七、三五、〇〇	一〇、三五、〇〇
使用料及手數料	三四、一四、〇〇	三一、一四、〇〇	三四、一四、〇〇	三一、一四、〇〇	三四、一四、〇〇	三一、一四、〇〇
國庫下渡金	五六、〇一、八〇〇	五六、〇一、八〇〇	五六、〇一、八〇〇	五六、〇一、八〇〇	五六、〇一、八〇〇	五六、〇一、八〇〇
交付金	一、六、六二、〇〇	一、六、六二、〇〇	一、六、六二、〇〇	一、六、六二、〇〇	一、六、六二、〇〇	一、六、六二、〇〇
國庫補助金	一、三、三七、〇〇	一、三、三七、〇〇	一、三、三七、〇〇	一、三、三七、〇〇	一、三、三七、〇〇	一、三、三七、〇〇
縣補助金	二、九、六八、〇〇	二、九、六八、〇〇	二、九、六八、〇〇	二、九、六八、〇〇	二、九、六八、〇〇	二、九、六八、〇〇
寄附金	一、六、一、〇〇	二、六、一、〇〇	一、六、一、〇〇	二、六、一、〇〇	一、六、一、〇〇	二、六、一、〇〇
繰越金	五、〇二、〇〇		五、〇二、〇〇		五、〇二、〇〇	
雜收入	二〇、五三、〇〇	四、五三、〇〇	二〇、五三、〇〇	四、五三、〇〇	二〇、五三、〇〇	四、五三、〇〇
市稅	三五、二五、〇〇	三五、二五、〇〇	三五、二五、〇〇	三五、二五、〇〇	三五、二五、〇〇	三五、二五、〇〇
市債	二六、〇〇、〇〇	二六、〇〇、〇〇	二六、〇〇、〇〇	二六、〇〇、〇〇	二六、〇〇、〇〇	二六、〇〇、〇〇
其ノ他ノ收入	七、九六、〇〇	一、九六、〇〇	七、九六、〇〇	一、九六、〇〇	七、九六、〇〇	一、九六、〇〇
計	一二七、九六、〇〇	一二七、九六、〇〇	一二七、九六、〇〇	一二七、九六、〇〇	一二七、九六、〇〇	一二七、九六、〇〇

一〇三、市歳出

科目	昭和十年 豫算額	昭和十年 決算額	同九年 豫算額	同九年 決算額	同八年 豫算額	同八年 決算額
經費						
會議費	三四、八〇〇	三四、八〇〇	三四、八〇〇	三四、八〇〇	三四、八〇〇	三四、八〇〇
役所費	一一四、四〇〇	一一四、四〇〇	一一四、四〇〇	一一四、四〇〇	一一四、四〇〇	一一四、四〇〇
土木費	二五、六〇〇	二五、六〇〇	二五、六〇〇	二五、六〇〇	二五、六〇〇	二五、六〇〇
小學校費	三〇五、三四〇	三〇五、三四〇	三〇五、三四〇	三〇五、三四〇	三〇五、三四〇	三〇五、三四〇
實業補習學校費	—	—	—	—	—	—
青年訓練所費	—	—	—	—	—	—
青年學校費	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇	六、四〇〇
學事諸費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
社會教育費	一二、四〇〇	一二、四〇〇	一二、四〇〇	一二、四〇〇	一二、四〇〇	一二、四〇〇
傳染病豫防費	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇
傳染病院費	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇
汚物掃除費	六、六〇〇	六、六〇〇	六、六〇〇	六、六〇〇	六、六〇〇	六、六〇〇
消毒所費	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
撒水費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
勸業諸費	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
天然記念物保存費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
職業紹介所費	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇
住宅費	一二、九〇〇	一二、九〇〇	一二、九〇〇	一二、九〇〇	一二、九〇〇	一二、九〇〇
救護費	六、三〇〇	六、三〇〇	六、三〇〇	六、三〇〇	六、三〇〇	六、三〇〇
警備費	一、三六、〇〇〇	一、三六、〇〇〇	一、三六、〇〇〇	一、三六、〇〇〇	一、三六、〇〇〇	一、三六、〇〇〇
精神病者救容諸費	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
建築費	一〇〇、〇〇	九、三〇〇	一〇〇、〇〇	一、三〇〇	一〇、〇〇	一、三〇〇
徵發費	一〇、〇〇	—	一〇、〇〇	—	一〇、〇〇	—
營繕費						
基本財産造成費	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
諸稅	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇
公金取扱費	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇
聖蹟保存費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
統計費	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
雜支出	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇
公園費	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇
豫備費	三〇、〇〇〇	三、八〇〇	三〇、〇〇〇	三、八〇〇	三〇、〇〇〇	三、八〇〇
計	三、八〇、三四〇	三、七四、三四〇	三、七四、三四〇	三、七四、三四〇	三、七四、三四〇	三、七四、三四〇
臨時部						
役所費	一一、〇一六	—	—	—	—	—
土木費	三、六四〇	—	—	—	—	—
都市計劃費	三、六四〇	—	—	—	—	—
教育費	一、四〇〇	—	—	—	—	—
衛生費	三、四〇〇	—	—	—	—	—
勸業費	九、三〇〇	—	—	—	—	—
財産造成費	—	—	—	—	—	—
公債費	三〇、九六〇	—	—	—	—	—
財産經入補充額	—	—	—	—	—	—
寄附金	一一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
其ノ他ノ支出	一二、九〇一	一二、九〇一	一二、九〇一	一二、九〇一	一二、九〇一	一二、九〇一
合計	一、三五、三一〇	一、三五、三一〇	一、三五、三一〇	一、三五、三一〇	一、三五、三一〇	一、三五、三一〇
歲入						
財産ヨリ生ズル收入	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇
運用戻入金	九、三〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
市費其ノ他繰入金	一、三三、三一〇	一、三三、三一〇	一、三三、三一〇	一、三三、三一〇	一、三三、三一〇	一、三三、三一〇

一〇四、特別會計歲入出

一〇五、特別會計上水道歲入出

科目		昭和十年	同九年	同八年
		豫算額	決算額	豫算額	決算額	豫算額	決算額
歲入	繰越金	三五〇〇	三五〇〇	一二六〇	一二六〇	一二六〇	一二六〇
	其ノ他收入	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
	計	六九五〇〇	六九五〇〇	六九五〇〇	六九五〇〇	六九五〇〇	六九五〇〇
歲出	營繕費又ハ事業費	三一〇〇	一七九〇〇	三一〇〇	七六〇〇	三一〇〇	七六〇〇
	基金繰入	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇
	其ノ他支出	六六〇〇	三一〇〇	六六〇〇	三一〇〇	六六〇〇	三一〇〇
	豫備費	六六〇〇	—	六六〇〇	—	六六〇〇	—
	計	六九五〇〇	二一三〇〇	六九五〇〇	一九五〇〇	六九五〇〇	一九五〇〇

歲		豫算額	決算額	豫算額	決算額	豫算額	決算額
歲入	國縣費補助金	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇
	市債	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇
	一般會計編入金	一二五〇〇	一二五〇〇	一二五〇〇	一二五〇〇	一二五〇〇	一二五〇〇
	雜收入	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
	使用料及手數料	六四三〇〇	六四三〇〇	六四三〇〇	六四三〇〇	六四三〇〇	六四三〇〇
	繰越金	三一〇〇	三一〇〇	三一〇〇	三一〇〇	三一〇〇	三一〇〇
	給水工事費收入	一四九〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇	一四九〇〇
	寄附金	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇
	財產賣却額	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇
	財產運用金	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇
	合計	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇
歲出	上水道施設費	—	—	—	—	—	—
	事務費	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇	一二四〇〇
	公債費	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇
	運用金積戻金	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇	一四〇〇〇
	簡易水道事務費	—	—	—	—	—	—
	同作業費	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇
	給水費	三三四〇〇	三三四〇〇	三三四〇〇	三三四〇〇	三三四〇〇	三三四〇〇
	雜支出	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
	豫備費	三四〇〇	—	三四〇〇	—	三四〇〇	—
	合計	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇	三一九四〇

一〇六、市有財產（土地及建物）

種別	所在地	土地	建物 建坪	建物 二階坪
盛岡市役所	內丸	一〇五〇坪	四二〇坪	三一坪
同建築敷地	同	五一〇坪	—	—
職業紹介所	同	五〇坪	四〇坪	三一坪
公益質屋	同	一一坪	四坪	三一坪
盛岡高等小學校	馬場小路	一〇〇〇坪	四〇〇坪	四〇〇坪
仁王尋常小學校	上名須川	一一四〇坪	四〇〇坪	四〇〇坪
城南尋常小學校	天神下	一〇九〇坪	三六〇坪	三六〇坪
櫻城尋常小學校	新築地	一一四〇坪	四八〇坪	四八〇坪
厨川尋常小學校	三十軒	一〇〇〇坪	三四〇坪	三四〇坪
仙北尋常小學校	仙北組町	一一〇〇坪	四八〇坪	四八〇坪
杜陵尋常小學校	川原小路	一〇三〇坪	四八〇坪	四八〇坪
山岸尋常小學校	山岸	一一〇〇坪	四八〇坪	四八〇坪
大慈寺尋常小學校	大慈寺前	一一〇〇坪	四八〇坪	四八〇坪
米內尋常小學校	上米內	六六〇坪	三一坪	—
庄ヶ畑分教場	同	六〇坪	一六坪	—

種別	所在地	土地	建物
		建坪	二階坪
海濱學校	下閉伊郡鵜鶏村内丸	一、二三二、三五	—
聖跡保存敷地	内丸	一、三五〇、〇〇	—
市民病院	萬日	二、三二六、八六	四四〇、五五
診察所	内丸	一、四三〇、〇〇	六六、三五
精神病者救容舍	萬日	一、九五四、四二	四四〇、四四
岩手公園内看守人詰所外元區名土藏及住宅	内丸	—	二十棟 五九、三六
第一期市營住宅	加賀野	六九五、七五	土藏 一〇〇、〇〇
第二期市營住宅	馬場小路	四、九五五、四四	住宅 一〇、〇〇 七、五〇
第三期市營住宅	下斎	三、五四八、二二	三八戸 五六二、三五
第四期市營住宅	庭申長根	四六戸 九四五、〇〇	
加賀野小住宅	加賀野	二十戸 三六五、〇〇	
下小路住宅	下小路	八戸 三五、七五	
息鴨鄉倉	—	四五、七五	六戸 一三、五〇
安部館宅地	厨川	三三、七〇	五戸 五五、五〇
清訪第一部番屋敷地	田畑	八三、〇〇	一戸 一七、五〇
住宅土藏物置	加賀野	九三、一〇	—
揚水モーター室	—	四二、一〇	二ヶ所 三、〇〇
公共便所	中野村	三、四五五、〇〇	二十棟 三一、七〇
南部汚物處分場	中川原	六、〇三〇、〇〇	一棟 一、〇〇
西部汚物處分場	上米内	一〇、〇一〇、〇〇	十棟 三一、〇〇
上水道取入口及淨水場	内	四、三五〇、〇〇	七棟 八二、二三
同配水池	同	一二、一七一、二三	
竝水及配水用鹽地	同	一、〇〇〇、〇〇	
宅地			

種別	國債證券	社債證券	預金及現金	運用金	計	昭和九年	同八年
墓地	—	—	三五、一〇〇	—	三五、一〇〇	三五、一〇〇	三五、一〇〇
潤池	—	—	三五、三〇〇	—	三五、三〇〇	三五、三〇〇	三五、三〇〇
田	—	—	三、三四〇	—	三、三四〇	三、三四〇	三、三四〇
畑	—	—	三五、〇〇	—	三五、〇〇	三五、〇〇	三五、〇〇
芝蓋地雜種地	—	—	六、〇五〇	—	六、〇五〇	六、〇五〇	六、〇五〇
山林	—	—	一、四五〇、〇〇	—	一、四五〇、〇〇	一、四五〇、〇〇	一、四五〇、〇〇
原野	—	—	一、〇四二、九二一	—	一、〇四二、九二一	一、〇四二、九二一	一、〇四二、九二一
計	—	—	一、一三一、二四	—	一、一三一、二四	四、一五一、二七	四、一五一、二七
昭和九年	—	—	一、一三一、二四	—	一、一三一、二四		
同八年	—	—	四、一五一、二七	—	四、一五一、二七		

一〇七、有價證券及預金

種別	國債證券	社債證券	預金及現金	運用金	計	昭和九年	同八年
一般基本財産	八〇、〇〇	三五、〇〇	五二、九八八	六二、三四一	六二、三四一	六二、三四一	六二、三四一
教育基本財産	三、三〇〇、〇〇	一一〇、〇〇	三四、三五二、八七	三六、三五二、八七	三六、三五二、八七	三六、三五二、八七	三六、三五二、八七
罹災救助資金	五〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一一、三一一、九二	一一、九一一、九二	一一、九一一、九二	一一、九一一、九二	一一、九一一、九二
學事奬勵基金	一、〇八〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一、三三、九二	一、三八〇、九二	一、三八〇、九二	一、三八〇、九二	一、三八〇、九二
樹藝資金	五〇〇、〇〇	—	四一、三八	五四一、三八	五四一、三八	五四一、三八	五四一、三八
小學校義務教育國庫負擔金	三、四〇〇、〇〇	—	一、三五〇、三三、三七一、三四八、一	一、三五〇、三三、三七一、三四八、一	一、三五〇、三三、三七一、三四八、一	一、三五〇、三三、三七一、三四八、一	一、三五〇、三三、三七一、三四八、一
普通資金	一、〇〇〇、〇〇	—	九四〇、〇〇〇、〇〇	九四一、〇〇〇、〇〇	九四一、〇〇〇、〇〇	九四一、〇〇〇、〇〇	九四一、〇〇〇、〇〇
消防奬勵基金	—	—	三、〇五三、一二五、八五〇、九五〇、八	三、〇五三、一二五、八五〇、九五〇、八	三、〇五三、一二五、八五〇、九五〇、八	三、〇五三、一二五、八五〇、九五〇、八	三、〇五三、一二五、八五〇、九五〇、八
社會事業資金	—	—	九三〇、〇〇〇、〇〇	九三〇、〇〇〇、〇〇	九三〇、〇〇〇、〇〇	九三〇、〇〇〇、〇〇	九三〇、〇〇〇、〇〇
發明奬勵基金	—	—	三、三〇一、三一一、四一	三、三〇一、三一一、四一	三、三〇一、三一一、四一	三、三〇一、三一一、四一	三、三〇一、三一一、四一
學齡兒童保護基金	五〇〇、〇〇	—	九三、三一〇、八三	九三、八一〇、八三	九三、八一〇、八三	九三、八一〇、八三	九三、八一〇、八三
備荒基金	—	—	三五、三一〇、八三	三五、三一〇、八三	三五、三一〇、八三	三五、三一〇、八三	三五、三一〇、八三

種別	國債證券	社債證券	預金及現金	運用金	計	昭和九年	昭和八年
市吏員退隱料及一時給與基本財産	—	—	四、〇六三、六三	四、六五〇、一五	八、七一三、七七	一〇、七六八、七六	九、六五六、二四
昭和行幸記念資金	—	—	四、三四七、八三	—	四、三四七、八三	四、一八三、七一	四、〇一九、三〇
奉齋資金	—	—	一、四八六、六八	三、一〇〇、〇〇	四、五八六、六八	七、四二六、四三	七、二六〇、五〇
計	八、三五〇、〇〇	三七〇、〇〇	五八、四二六、六五	二一七、三八八、六五	二八四、五三五、三〇	三五九、〇九八、八八	三七二、七九三、四七
昭和九年末	八、三五〇、〇〇	三七〇、〇〇	一七一、三九〇、二〇	一七八、九八八、六八	三五九、〇九八、八八	—	—
昭和八年末	八八、〇五七、〇〇	六七、三三〇、〇〇	五五、一〇四、一七	一六二、二四四、三〇	三七二、七九三、四七	—	—

一五、議會

一〇八、議員及選擧有權者

種別	昭和十年 議員	昭和十年 有權者	同九年 議員	同九年 有權者	同八年 議員	同八年 有權者
貴族院	—	一五	—	一五	—	一五
衆議員	一	一三、一五五	一	一五、六二五	一	一一、二六四
縣會	二	一二、三九三	二	一二、一〇四	二	一〇、七八〇
市會	三六	一二、三九三	三六	一二、一〇四	三六	一〇、七八〇
陪審員	一五〇	一、二三三	三〇〇	一、二六三	三二〇	一、二〇三

一六、市政

一〇九、議決機關及執行機關

議會	開會日數	件數	開會日數	件數	開會日數	件數
市會	一五	八五	一八	八三	一九	七九
參事會	一三	二八	一〇	五六	一二	三八

順位	就任年月日	退職年月日	氏名
一代	明治卅二年五月廿三日	明治三十七年三月廿七日	日時敬之
二代	同卅七年三月廿七日	同三十八年十月廿八日	清岡等
三代	同卅八年十月廿八日	同三十九年五月十一日	關定孝
四代	同卅九年五月十一日	同四十年十一月六日	北田親氏
五代	同四十年十一月六日	同四十三年八月三日	大矢馬太郎
六代	同四十三年十二月二日	昭和三年十二月五日	北田親氏
七代	昭和四年一月廿日	昭和四年三月六日	堀合由己
八代	昭和四年五月八日	昭和九年六月六日	中村謙藏
九代	昭和九年六月七日	現市長	大矢馬太郎

一一〇、分課組織

課別	課長	係	吏員配置 書記	吏員配置 技手	吏員配置 掃除巡視	吏員配置 雇	吏員配置 囑託監督員	吏員配置 計	文書收發件數 收受	文書收發件數 發送	文書收發件數 計
庶務課	主事	庶務	×一五	—	—	四	—	×一五	七、六八八	四七五	八、三九九
		戸籍	二	—	—	六	—	八			
土木課	技師	土木	一	二	—	一	—	四	五〇五	五九	五六四
		營繕	—	二	—	二	一	五			
教務衛生課	主事	學務	二	—	—	二	—	四	四、一七〇	二一八	四、三八八
		兵事	三	—	—	—	—	三			
		衛生	×一 一	—	四	二	—	×一 七			
產業課	主事	—	四	一	—	—	—	五	二、七四六	四七六	三、二二二
財務課	主事	—	×二 一八	—	—	×一 五	—	×三 二三	二、九八八	七二二	三、七一〇
會計課	×收入役	—	×四 六	—	—	×一 四	—	×五 一〇	一四六	六〇	二〇六
都市計劃課	技師	—	一	一	—	—	一	三	一一	八	一九

一七、上水道

一二、沿革

一、水道布設ノ調査ニ着手　昭和四年十月五日
一、水道布設ノ件及起債ニ關スル件其ノ他關係議案議決　同　六年九月七日
一、水道布設ノ件認可申請　同年九月二十五日
一、盛岡水道利用組合經營ニ係ル水道設備其ノ他一切ヲ買收ノ件議決　同七年五月十一日
一、水道布設ノ件認可及起債ノ件許可　同　年八月十二日
一、起工　同　年十月十七日
一、盛岡水道利用組合經營ニ係ル水道設備其ノ他一切ヲ買收　同八年二月十四日
一、右ノ買收ヲ以テ水道ヲ簡易水道ト稱シ經營開始　同　年二月十五日
一、給水申込受付開始　同　九年五月十日
一、竣水管ヘ通水　同年八月二十六日
一、配水管ヘ通水　同　九年九月三日

課別	課長	係	書記	技手	掃除	雇	嘱託	員數計	收受	發送	計
水道課	技師										
秘書											
計											
職業紹介所											
公益質屋											
市民病院	院長										
盛岡市診療所	所長										
計											

一、給水裝置ノ工事開始　同　年九月十七日
一、簡易水道ヲ閉鎖　同年十一月三十日
一、新設水道ノ給水開始　同　年十二月一日
一、竣功　同十年三月卅一日

一二、計畫概要

一、給水區域　盛岡市及隣接村ノ一部
一、給水計畫人口　第一期五萬人、第二期拾萬人
一、給水量　一人一日給水量百二十六立
一、水源　一晝時間ノ最大給水量百八十九立
一、取入口　中津川支流米内川表面水
一、竝水方法　盛岡市大字上米内字畑井野（市内ノ橋ヨリ上流約九、〇〇〇米）
一、配水方法　自然流下
一、水壓ノ概算　配水管ニ於テ最高二靜水壓　五五、七二米　四一、六四米

一三、施設ノ概要

一、取入口　花崗石積取入口及花崗石積地物繰形竪流式固定堰高平均三米六、長三十三米四及護岸工
一、淨水場　沈砂池長十五米五、幅二米七五、深平均二米九四ノモノ一池、量水井長九米五一、幅一米八二ノモノ一池、沈澱池長五十四米二、幅二十七米、深四米二ノモノ二池、濾過池長九十米四六幅三十七米、深二米五八ノモノ三池、出水井一、以上何レモ鐵筋コンクリート造
一、配水池　着水井一、鹽素滅菌室一、及配水池長四十五米二六、幅二十一米六四、總深四米五四ノモノ二池以上何レモ鐵筋コンクリート造

一、鉛水管　口径四百五十粍鑄鐵管布設延長六千九百十一米
一、配水管　口径五百粍乃至七十五粍鑄鐵管布設延長十萬九百四十五米
一、消火栓　地上式放水口径二吋半（双口　六十基　単口　三百九十五基）

一一四、工費

一、水道布設工費		一、一七三、七九五、三九〇円
一、公債費		八二、一二三、〇六〇（布設工事期間中ノ市債利子）
一、私設水道買収費		一四九、九五二、二四〇
合計		一、四〇五、八七〇、六九〇

一一五、給水戸数

	専用栓	共用栓	合計
昭和十年	三、九六五	六三二	一ケ月配水量 一、三二七 五八二、四三〇 立方米

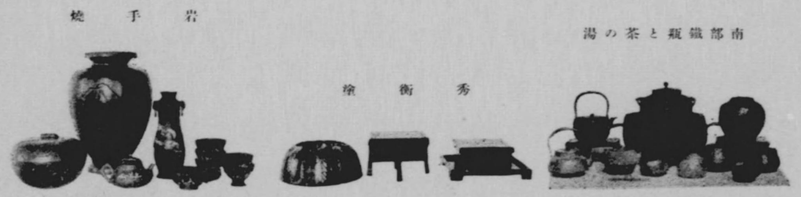
一一六、給水使用料

一、専用栓
一、一戸五人迄金壹圓トシ一人ヲ増ス毎ニ金十銭ヲ加フ
二、支栓壹ケ月ニ付　金三十五銭
三、浴槽（支栓ノ設ケサルモノ）壹月ニ付　金二十五銭
四、牛馬一頭ニ付　金十五銭
二、共用栓
一、一戸五人迄金四十銭一人ヲ増ス毎ニ金五銭ヲ加フ
二、浴槽　壹ケニ付　金十五銭
三、牛馬　壹頭ニ付　金十銭
三、普通計量栓
一、壹ケ月十立方米ヲ定量トシ最低料金ヲ金九十銭トス超過水量ニ対シテハ左記ノ割合ニ依リ算出加算スルモノトス
超過水量三百立方米迄　一立方米ニ付金五銭
三百一立方米ヨリ二千立方米迄　〃　金四銭
二千一立方米以上　〃　金三銭

右

附

錄



岩手焼

堆朱秀衡

南部鐵瓶と茶の湯

○物　産

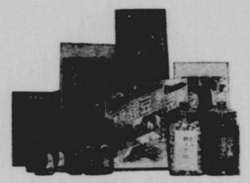
○南部鐵瓶と釜の湯釜　本品製作の濫觴は遠く室町時代だが爾来藩主の奬勵に依つて名工輩出し技術大に進み名聲天下に嘖々たるものであつた。由來南部釜は其の製作の古雅なると其の湯の甘味なると洛も鐵氣の出る憂無いのとは其の特色で現今では本品の製作技術を普通品工藝品の二つに區分し其鑄造の妙技は益稱賛せられて居る。

○秀衡塗　一名南部蒔繪と稱し、遠く平泉全盛の頃に起源し其後南部氏の盛岡に建城せらるゝや寶暦年間森林制度の創立と共に漆樹を植栽せしめ以て堆器製作に力を致した、其作風古朴なる色、蒔繪に趣を散らし菱文様を施すなど一種致愛すべきものがあるから秀衡堆として廣く世に賞賛せらるるに至つた。

○岩手焼　明治四十年頃陶土の發見と共に始まる創業古からざるも陶質高雅にして朱泥黄泥黒泥等の數種あり、專ら支那の古陶に酷似す、就中茶器類は愛茗家の珍重するところである。

○菓子類　▲谷の實糖　本市及附近の特産である朝鮮谷の胚に糖をかけたもので高雅美味點茶の料として盛岡特有の名物である。▲豆銀糖　本種は古來豆の產地として其の名高く就中青豆は良澤香味とも他に其の比を見ない、豆銀糖は即ち其特殊の點を取つて製造したもので昔から當市の名產として賞美

菓子類



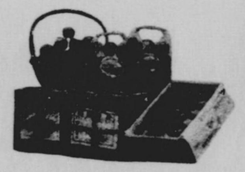
南部絞染及圈染

せられておる。▲黃精飴　由野に自生する「あまどころ」を原料として製造したもので特種の美味を持つてゐる外滋養に富むから保健的珍菓として賞賛せられてゐる。▲片栗落雁　野生の片栗の球根からとつた澱粉で製したもので輕妙且滋養豐富だから古來珍賞せられて居る。▲菊菊　飴野生の山菊汁を利用し製造したもので適當の酸味をおび滋養に富む佳品である。▲林檎羊羹　本市特産の南部林檎を原料として製造したものであるから香氣相俟て珍味のある菓子である。▲家鴨餅と金山からめ餅　共に牛脂に胡桃を混じて精製した滋養と美味を兼ねた佳品で世上に愛好せられ他府縣に移出せられてゐる。

○南部桐製作品　桐材は本邦到る所に産出するが特に本縣のものは南部桐と唱へられて桐材中の嚆矢を誇るは風土の關係上特種な良質を持つて居る爲である。又木理に紫色を呈するから紫桐ともいはれてゐる。本質堅緻にして輕く履物として耐久力を有し指物として箪笥、棚類、火鉢等あらゆるものに利用せらる、中央に於ても高尚なる調度は南部桐を利用せらるゝは世間周知のことである。

○玩具類　南部板馬　古來良馬の産地柄本製の鄕土玩具として創作せられ古く世に知られてゐる、又最近考案したものに桐人形、久留美細工其他何れも鄕土氣分の溢るゝものがある。

南部桶林



馬市場

醸造物

○南部紋染茜染　當市附近の山野に自生せる紫根及茜といふ植物良素を染料とするもので最も衛生に適してゐる。其文様概して粗放なるも雅致に富み永年褪色の憂なきを以て袢襦帯地、布団等に適し又小摸様物は袋物に利用せられ都人士に愛好せられてゐる。

○醸造物　醸造物就中清酒は近年著しく改良せられ、其産額七拾萬圓縣内外に移出する量漸次多きを加へ・岩手川、あき間、櫻頴其他種々の銘酒がある。

○南部馬　馬市場古来南部領内は所謂驒北の地で良馬を産し之れを南部馬と稱し彼の磐梨、池月も此の地に産し其名邦内に冠たるものであつた、昔は幕府に對する恒例の献上物で萬治元年馬町に於て武歳駒讀の制度を設け維新後に至るも其慣例を襲用して今日に至つてゐる・市場は現今當市志家松尾前廣澗の地に馬檢場厩舎事務室外に隔離厩舎等があり毎年九月の候牛ケ月市場を開催して讀賣を行つてゐる、日々の出陳頭數は千餘頭に達し本邦有數の大市場である、開市の際には小岩井其他の大牧場を初め幼駒の集合は連日壯觀を呈し且つ非常な雑踏を極てる。

○甘藍と白菜　市内近郊で多量に産出され關東、關西に移出する量年と共に多く品質の優良なること他に比類がないといはれてゐる。

○林檎　所謂西洋林檎には古き歴史があり明治初年他に先立ちて試作し盛岡林檎の聲價を擧げたが一時衰微して却つて青森縣の名産として知られてゐたが近年再興して年々産額を增すに至り其品質の優良なるは他に其の右に出づるものはない。

昭和十二年四月　日印刷
昭和十二年四月　日發行

盛岡市役所

盛岡市紺屋町三十九番戸

印刷人　赤澤吉

盛岡市紺屋町三十九番戸

印刷所　杜陵印刷所

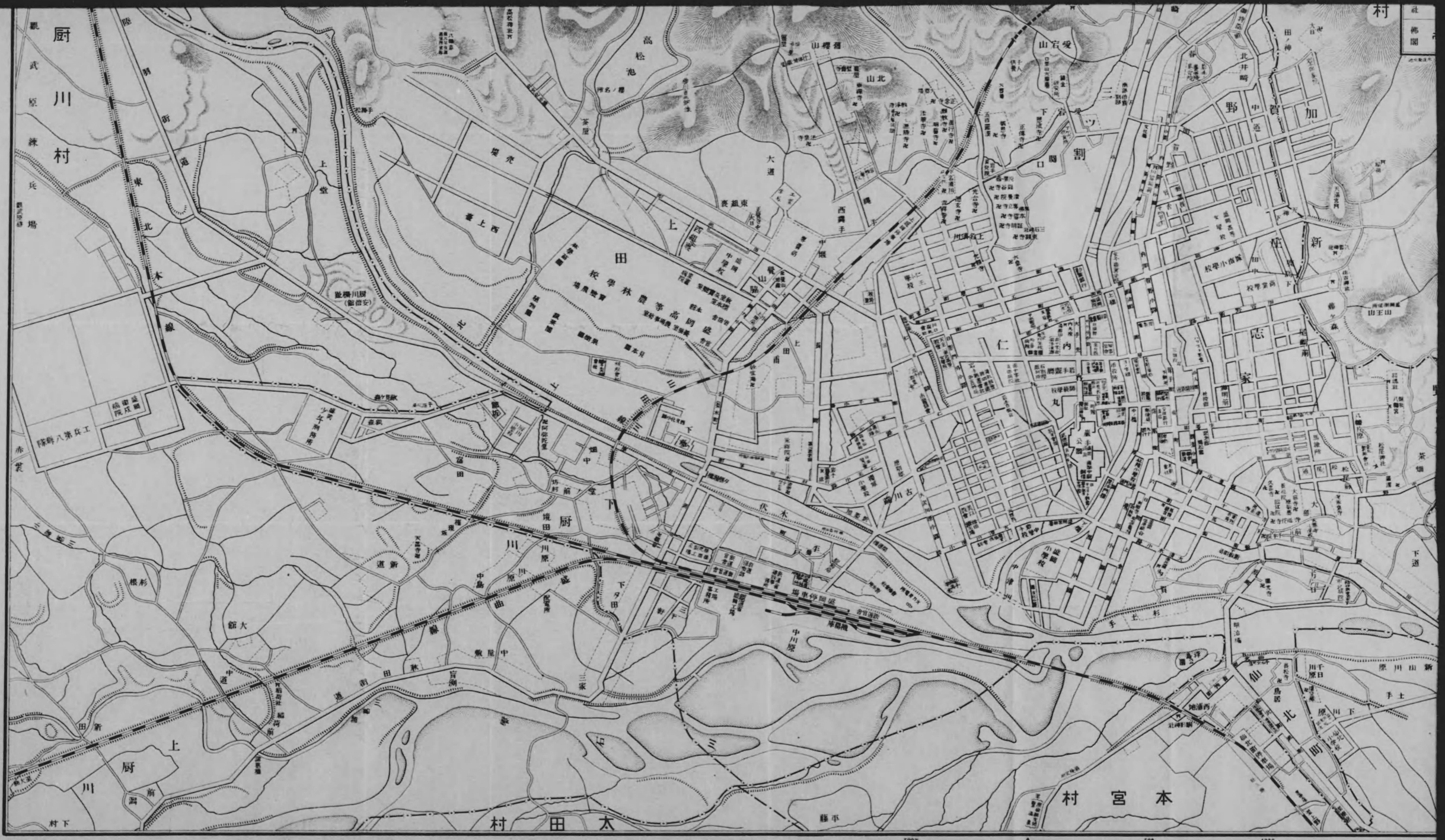
盛岡市街圖

凡例

市町村界	道路
池沼	小徑
山	鐵道
諸官衙及學校	川溝
宅地其他	砂地
神社	田
佛閣	卍

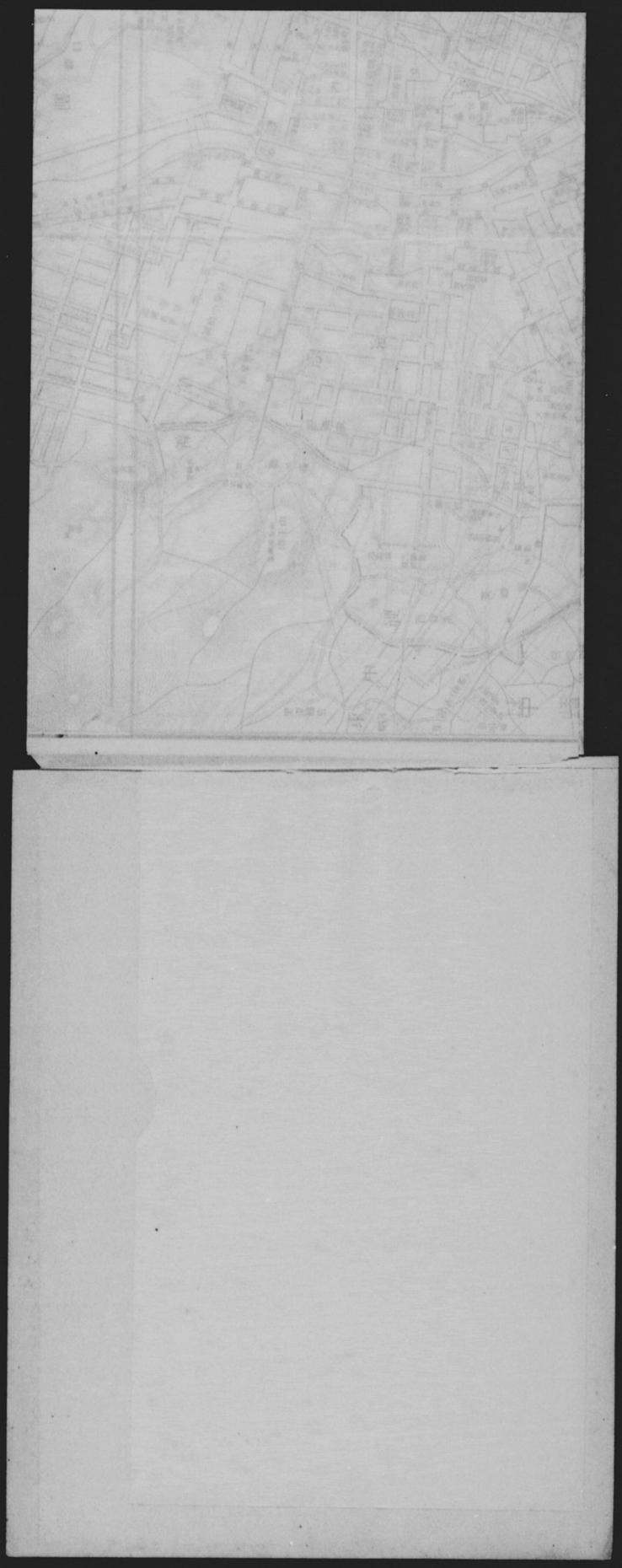
縮尺一万二千五百分之一

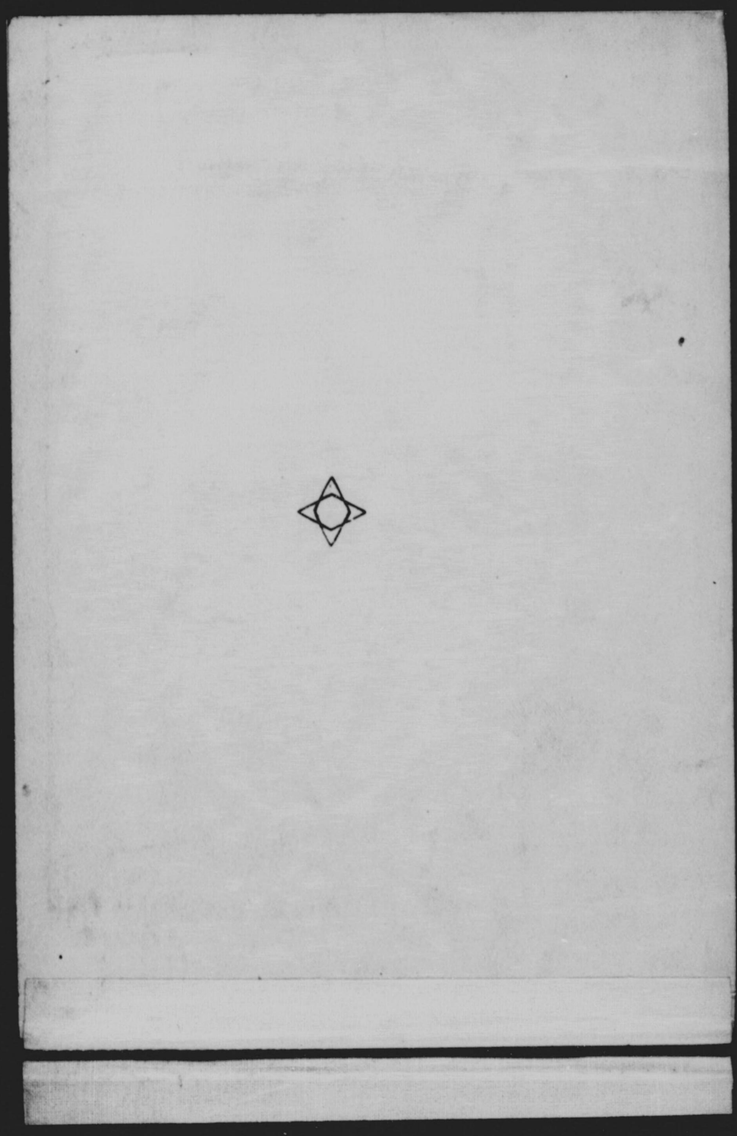
盛岡市街圖
三田
厨川村
高松池
上田
校學林農等高岡盛
淺岸村
加賀野
新庄
仁内
忠家
大館



縮尺一万二千五百分之一

盛岡市役所藏版





144
640